

令和元年度事業報告書

公益財団法人 北九州活性化協議会

目次

(概況)	…………… P 1
--------	-----------

(事業報告)

I 公益目的事業 1

北九州市地域の活性化に関する調査・研究を行うとともに、行政及び関係団体と活性化施策の総合的な調整を行うことによって、北九州地域の発展に寄与することを目的とした事業

1 “もったいない”を未来に引き継ぐ事業 (もったいない総研事業)	…………… P 2
2 産業人材を育成する事業 (北九州地域産業人材育成フォーラム事業) ※別紙1参照	…………… P 3
3 次世代を担う人材を育成する事業 (「北九州の企業人による小学校応援団」事業) ※別紙2参照	…………… P 3
4 都市格(文化力・教育力)を向上する事業 (「1000人の夢寄金」事業)	…………… P 3
5 まちづくり推進事業	…………… P 7

II 公益目的事業 2

北九州イノベーションギャラリー指定管理者事業 ※別紙3参照	…………… P 9
----------------------------------	-----------

III 法人運営事業 …………… P 9

「公益法人法」を遵守することにより、法人運営を適切に維持・管理し、かつ、当協議会の公益目的事業を円滑に遂行するために必要な、組織運営体制および財務基盤の強化を図る。

（ 概 況 ）

令和元年度のKPEC事業は、産学連携による工学系技術人材の育成を目的とする「北九州地域産業人材育成フォーラム事業」、北九州市の小学校教育の環境支援をする「北九州の企業人による小学校応援団事業」、市民の教育、文化活動の支援を通じて都市格の向上を図る「1000人の夢寄金事業」、「もったいない総研事業」では「北九州紙えこっパー」の普及事業を拡充すると共に、「北九州市の文化財を守る会」との共同事業体による旧百三銀行ギャラリーの指定管理運営事業を実施した。

指定管理事業である北九州イノベーションギャラリー（KIGS）については、地域産業界との連携による特徴ある事業企画の開発を行うと共に、産業人材育成フォーラム事業との連携を図りながら、北九州市の産業・技術継承とものづくり人材の育成という目的の実現に向けた事業の開発、運営を行った。

公益財団の経営については、平成24年度より取り組んできた財務体質改善対策の成果を基盤として一層の経営効率の向上に向けた運営に努めると共に、創立30周年の節目を迎え、創立30周年の記念事業として、「設立30年記念誌」の発行、「設立30周年記念講演会～世界に広がる北九州市の明日を考える講演会～」および「設立30周年記念祝賀会」を開催した。

また、創設30周年の節目を踏まえて、新しい事業運営体制の構築を行うと共に、産学官民の推進の連携軸となるべき新しいKPECの在り方を再確認し、今後の事業運営の基本的指針となる中長期計画の検討を開始した。

令和元年度の事業報告は以下のとおりである。

(事業報告)

I 公益目的事業 1

北九州市地域の活性化に関する調査・研究を行うとともに、行政及び関係団体と活性化施策の総合的な調整を行うことによって、北九州地域の発展に寄与することを目的とした事業

1. “もったいない”を未来に引き継ぐ事業 (もったいない総研事業)

もったいない総研の運営理念「もったいないを未来に引き継ぐ」を踏まえた地域活性化事業の企画、開発及び事業化を実施した。

1) 「北九州紙 えこっパー」の普及のための施策の実施

(1) 『北九州紙 えこっパー』の普及拡大の実施

「えこっパー」(古紙・牛乳パックを再利用したリサイクルトイレットペーパー)の普及拡大を目的に令和元年度北九州エコプレミアムに応募し、選定検討会委員特別賞に選定された。このエコプレミアムへの選定により、北九州エコプレミアムカタログおよび北九州エコプレミアムホームページに「えこっパー」が掲載され幅広くPRを行うことができた。

<販売数> (1パック6個入り)

◇令和元年度販売数：190,784 パック (前年比+3,032 パック)

◇累計販売数 (平成13年度～令和元年度)：3,527,016 パック

(2) 「北九州紙 えこっパー」による環境教育の実施

全国牛乳容器環境協議会や北九州の企業人による小学校応援団事業等と連携して、牛乳パックリサイクル製品である「北九州紙 えこっパー」の企画意図と製作過程を環境教育教材にした出前授業を継続実施した。

(3) 「1000人の夢寄金事業」への寄付

「えこっパー」を製造・販売している大分製紙(株)より「えこっパー」1パックにつき1円を当協議会に寄付いただいております。令和元年度は20万円の寄付をいただきました。

本寄付金を「1000人の夢寄金事業」への寄付金として計上した。

2) “もったいない”の概念を踏まえたシビックプライドの醸成事業の実施

(1) 旧百三十銀行ギャラリーの指定管理事業の実施及び近現代建築物のファシリティマネジメントの研究実施

「北九州市の文化財を守る会」と協働で旧百三十銀行ギャラリーの管理運営事業(5年間)を円滑に実施した。本事業を通じて、近現代建築物のファシリティマネジメントの在り方とノウハウの研究を行った。

<事業規模・管理費>

◇令和元年度 事業規模：6,290千円 共同事業体管理費：631千円

2. 産業人材を育成する事業

「北九州地域産業人材育成フォーラム」を編成し、「高度人材育成プログラム事業」「社会人育成プログラム事業」「青少年育成プログラム事業」及び「産業人材育成の地域クラスター形成に向けた環境整備事業」を実施し、産学連携による産業人材育成システムの構築に向けた企画開発と事業実施を行った。

※事業報告の具体的内容は、

「令和元年度北九州地域産業人材育成フォーラム 事業報告書」(別紙1)の通り

3. 次世代を担う人材を育成する事業 (北九州の企業人による小学校応援団事業)

「北九州の企業人による小学校応援団」を編成し、北九州市内全公立小学校(129校)を対象に、出前授業、教員研修及びPTA活動促進支援事業を実施した。

※事業報告の具体的内容は、

「令和元年度北九州の企業人による小学校応援団事業報告書」(別紙2)の通り

4. 都市格(文化力・教育力)を向上する事業(1000人の夢寄金事業)

都市格(教育力・文化力)の向上を図ることを目的として、文化および教育分野における市民活動へ助成する「1000人の夢寄金」事業を継続実施し、寄付金募集と助成を実施した。

1) 「1000人の夢寄金」寄付募集事業

事業推進の基盤として、1000人の夢寄金寄付者の拡大を図るために、基本寄付募集とプロジェクト寄付募集を実施した。

(1) 基本寄付募集事業(個人・団体：一口3,000円 法人：一口10,000円)

① 基本寄付募集の実施

夢寄金事業の運営基盤となる基本寄付金の募集について、過去3年間の寄付者に対し、「事業報告書」と「寄付のお願い」文書により寄付を依頼した。

また、令和2年1月には、2度目の「寄付のお願い」文書を送付し、寄付率の向上を図った。

<令和元年度基本寄付金募集実績>

◇寄付件数： 169件

◇寄付金額： 1,186千円

② 寄付金拡充ための環境整備の実施

i) 基本寄付の預金口座振替の推進

寄付者の利便性向上と寄付の継続を目的に口座引落しによる寄付金口座振替の一層の推進と拡充を図った。

<令和元年度寄付の口座振替実績>

- ◇第4回引落日 令和元年10月21日(月)
- ◇引落件数63件 金額442千円 ※基本寄付全体の37%に相当

ii) Web、SNS等を活用したPRの実施

ホームページ、Facebook、メール配信等を利用して、「1000人の夢寄金」の活動の情報発信を積極的に行い、PRを実施した。

(2) プロジェクト寄付事業の実施

プロジェクト寄付事業として「チャリティーゴルフコンペ」および「チャリティーバザー」を企画・開催した。また、昨年に「引き続きボランティアグループ・シマウマ組および大分製紙(株)から寄付金をいただいた。

① 1000人の夢寄金チャリティーゴルフコンペ企画・開催

「第6回1000人の夢寄金 チャリティーゴルフコンペ」を企画・開催した。

<チャリティーゴルフコンペの概要>

- ◇日 時：令和元年11月6日(水)
- ◇場 所：若松ゴルフ倶楽部
- ◇参加人数：78名参加
- ◇チャリティー寄付金額：208千円

② 1000人の夢寄金チャリティーバザーの企画・開催

「第4回 クラフト・チクチク de マルシェとワークショップ」を企画・開催した。

<チャリティーバザーの概要>

- ◇日 時：令和元年10月25日(金)、26日(土)
- ◇場 所：北九州まなびとESDステーション
- ◇来場者数：2日間延べ300人以上
- ◇チャリティー寄付金額：199千円

③ 「縞縞のシマウマ」「時時ヨコシマなカバ」の売上金の寄付

ボランティアグループ・シマウマ組から小倉織の端切れ生地から創りだす縫いぐるみ「縞縞のシマウマ」「時時ヨコシマなカバ」の売上金より寄付をいただいた。

- ◇寄付金額：177千円(59頭分)
- (参考：販売価額3,900円/頭(税抜き) うち寄付3,000円/頭)

④ 「北九州紙 えこっパー」の売上金の寄付

「北九州紙 えこっパー」を製造・販売している大分製紙株式会社より「えこっパー」の売上の一部の寄付をいただいた。

- ◇寄付金額：200千円(売上190,784パック)

(3) その他の寄付（遺贈寄付等）

今年度の遺贈寄付等（遺贈、香典返し等）については、該当がなかった。

<第8期（令和元年度）の寄付金募集実績>

- ◇寄付件数 : 172件
- ◇寄付金額 : 1,970千

<寄付金実績推移>

(単位：千円)

年度	種別	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
基本寄付	個人・団体	1,975	1,498	1,739	583	832	860	637	479
	法人(1万円)	-	-	-	-	-	70	647	707
プロジェクト寄付	チャリティーゴルフ	-	288	264	-	261	243	213	208
	チャリティーバザー	-	-	-	-	218	269	167	199
	寄付ぬいぐるみ	-	-	-	-	-	399	408	177
	えこっパー	-	-	-	-	200	200	200	200
大口寄付	香典返し	-	-	-	-	600	-	-	-
寄付金額合計		1,975	1,786	2,003	583	2,111	2,041	2,272	1,970

累計 延べ寄付件数：1,454件 累計寄付金額：14,741千円

2) 「1000人の夢寄金」助成事業

「1000人の夢寄金」の趣旨を踏まえて、助成先の募集及び選定を行い、文化と教育分野で活躍する将来性のある団体及び個人の8事業に対して助成を実施した。

(1) 助成事業審査委員会の組織運営の見直し

1000人の夢寄金の趣旨に沿って公正性を持った審査を行うため、総勢8名の審査員で構成する助成事業審査委員会を招集し審査を実施した。

なお、今年度は、審査員の若返りを図るべく、6名の入れ替えを行うと同時に、新審査委員の意見を踏まえた新たな審査基準の検討を開始した。

(2) 助成事業の募集と選定

第8回助成先（事業期間：令和元年10月～令和2年9月）の募集を行い、審査委員会の審査を経て8事業への助成を決定した。

<令和元年度助成審査実績>

- ◇募集期間：令和元年7月1日～7月30日（1ヶ月間）
- ◇応募数 : 9事業
- ◇助成先 : 8事業
- ◇助成金額：2,000千円

<令和元年度 助成先8事業の概要>

助成先	助成金 (千円)	事業名	事業概要
NPO 法人すきっちゃん北九州 代表 入門真生	400	あそぼう災	「遊び」と「防災」を組み合わせた子ども向けの防災啓発事業を企画・実施している。遊びの中で身近に「防災」を実感することが備えにつながることを目指している。
(一社) 生き方のデザイン 研究所 代表理事 遠山昌子	300	子どもたちが主体的に生きるチカラをはぐくむ 「生き方のデザイン授業」	障害があることを強みに自分らしい生き方をしている人たちを「生き方のデザイナー」と称し子どもたちと交流を深める「生き方のデザイン授業」を小中学校のカリキュラムの中で展開する。
枝光まちなか芸術祭 2019 実行委員長 鄭 慶一	300	枝光まちなか芸術祭 2019	2014 年から毎年開催。地域住民と一緒に地域に根付いた芸術祭を継続開催することで、付加価値を生み出し同時に活性化を図る。
もじこう・アート・プラットフォーム 代表 池上貴弘	250	MAP 玄関口プロジェクト 2018	「空き物件や歴史的建造物のリノベーションと文化的活用」「地域で活動するアーティスト支援」
NPO 法人 あそびとまなび研究所 理事長 秋葉祐三子	250	Hibikino Green Learning project 2019 SDGs from Hibikino	全ての子供たちに緑と遊びを届けるプロジェクト。ふるさとの自然に学ぶ、一人も置き去りにしない、持続可能なまちづくり事業。
(一社)北九州青年経営者会議 ヤングサタ実行委員会 代表 藤田拓之	200	第 21 回ヤングサタチャリティー 吹奏楽コンサート、プレゼント 配布イベント	どんなに騒いでも OK。お母さんと一緒に赤ちゃんが参加できるコンサートと自宅に戻れずクリスマスを病院で過ごす子どもたちにプレゼントの本を届ける事業
絵本カーニバル実行委員会 代表 村岡純	200	旅する絵本カーニバル in 東田 「絵本を楽しみ、絵本で愛をつなぐ」がコンセプト	環境ミュージアム、エコハウスでの 400 冊の絵本展示を中心に絵本ミュージカル、影絵、人形劇、星のお話とプラネタリウム他、日替わりイベントやワークショップを開催。
NPO 法人かんかんむら かんかんむら幼稚園 代表理事 右田せい子	100	かんかんむらの音楽会	幼児から楽しめる音楽鑑賞事業。子どもたちに生の良質な音楽を聞かせるという考えから、定期的にコンサートを開催している。

<助成実績推移>

(単位：千円)

回数	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	第 6 回	第 7 回	第 8 回
応募件数	10 件	14 件	10 件	19 件	16 件	10 件	19 件	9 件
助成件数	4 件	6 件	7 件	7 件	9 件	9 件	9 件	8 件
助成金額	1,349	1,900	1,300	1,500	1,500	1,500	2,000	2,000

累計 助成件数：59 件 助成金額：13,049 千円

(3) 広報・プロモーション事業の実施

① 広報ツールの作成及び広報の実施

i) 「1000人の夢寄金」ホームページ及び facebook の活用

専用ホームページおよび facebook による 1000 人の夢寄金の広報を行うと共に、事業トピックスをタイムリーに掲載・発信した。

ii) メルマガの活用

メールマガジンの登録を進め、1000人の夢寄金メルマガ配信先の増加に努めた。

② Web 投票の試行

申請のあった助成先を対象として一般から広く助成事業に対する意見を求める Web 投票第4回目の試行を実施した。

4) 1000人の夢寄金運営委員会の新規設置

1000人の夢寄金の組織的・計画的な運営を行うとともに、営業推進体制の強化を図るため、「1000人の夢寄金運営委員会」を新たに設置した。
当面、委員会メンバーは審査委員が兼任し、順次新組織を構築する。

5. まちづくり推進事業

1) まちの活性化推進事業

(1) 新規事業の企画開発のための調査・研究の実施

創立30周年を機に、KPECの新しいまちづくり事業の方向性と企画を創設するため、北九州市の各分野の代表者に行ったインタビュー結果の集計および政治社会経済の実態及び行政の施策の現状分析（各種白書の分析）を行い、中期的な新規事業の事業化のための基本計画を検討した。

(2) 地域づくりネットワークの構築

① 北九州地域経済団体連携フォーラムの運営

北九州市内の経済団体による「北九州地域経済団体連携フォーラム(事務局：KPEC)」を編成し、各種の情報の共有と事業運営における連携、協働の環境づくりを行った。

令和元年度は経済団体連携フォーラムの共催事業として KPEC 創立 30 周年記念講演会「世界に広がる北九州の明日を考える講演会」を共同で開催した。

② 地域づくりネットワーク福岡県協議会への参画

「地域づくりネットワーク福岡県協議会」へ参画し、地域活性化施策の研究、調査及び研修を行うと共に、北九州市域の地域づくり団体との橋渡しを果たした。

(3) まちづくり事業の支援、協働の実施

① 北九州ミュージックプロムナードの支援

平成8年にKPECの提唱で始まった北九州市民参加交流型の音楽フェスティバルとして定着している「北九州ミュージックプロムナード実行委員会」に参画し、運営を支援した。

② 北九州市にぎわいづくり懇話会への参画

ビクターズ・インダストリー創出を目的とした「北九州市にぎわいづくり懇話会」に参画し（鹿田副理事長が当懇話会・企画調整委員会へ参画）、行政と協働でにぎわいづくり

事業の企画・実施の支援を行った。

今年度は「北九州100人マルシェ」をはじめとして、13事業を認定した。

2) まちの活性化に関する情報発信事業

(1) 情報受発信の強化

KPECの運営趣旨と活動及び地域活性化に関する各種情報を地域に伝えるための情報発信事業を推進した。

① KPECニュースの発行

KPECの運営及び事業を、KPEC会員及び関連団体に広く広報するために、KPECニュースを発行した。(KPECニュース Vol64 8月1日発行 ・発行部数：1000部)

② ホームページの運営

専用ホームページの充実を図り、KPEC事業活動情報をタイムリーに発信した。

3) KPEC設立30周年記念事業

KPEC設立30周年（平成元年財団法人設立）を機に、KPECの設立目的と地域活性化に取り組んできた運営経緯を総括し、改めて北九州市の活性化におけるKPECの機能と役割を広く市民に問い、今後のKPEC運営の方向付けを行うために設立30周年記念事業を企画、実施した。

(1) KPEC30周年記念誌の発行

KPECの設立趣旨と30年間の活動実績をまとめ、これまでの北九州地域の活性化に関する事業・取組みを地域に伝えると共に、今後のKPECの運営に資するために「KPEC30周年記念誌 ～未来は今日が始まる～」を編集し、発行した。

◇発行日：令和元年10月7日 発行部数：2000部

(2) KPEC設立30周年記念30周年記念講演会の開催

ものづくりの街—北九州市の向かうべき方向と、それを支える地域企業の経営のあり方について学び、産業都市の再生の道筋を考えること目的にKPEC設立30周年記念講演会を開催した。本事業は「北九州地域経済団体連携フォーラム」と連携して実施した。

<KPEC設立30周年記念講演会概要>

◇講演会名 世界に広がる北九州の明日を考える講演会

◇日 時 令和元年10月7日（月） 17：00～18：15

◇会 場 北九州国際会議場 メインホール

◇講 師 株式会社 三菱ケミカルホールディングス 取締役会長 小林 喜光 氏

◇テ – マ 『危機感なき茹でガエル日本』

◇共 催 北九州市、福岡経済同友会、北九州商工会議所、(一社)西日本工業倶楽部、(一社)北九州青年会議所、(一社)北九州青年経営者会議、(一社)北九州中小企業経営者協会、(公財)北九州観光コンベンション協会、(公社)北九州貿易協会

◇参加者 328名

(3) 30周年記念祝賀会の開催

KPEC設立30周年にあたり、設立以来、KPECの活動にご尽力いただいた、KPEC会員、役員OBおよび産・学・官・民の諸団体の関係者をお招きし、これまでのKPEC活動へのご協力に感謝の意を伝えるとともに、KPECの今後の活動に向けて、会員および産・学・官・民の各団体との交流を図り、今後のKPEC活動へのご理解とご協力をお願いすることを目的に30周年記念祝賀会を開催した。

<KPEC設立30周年記念祝賀会概要>

- ◇日時 令和元年10月7日(月) 19:00~20:30
- ◇会場 リーガロイヤルホテル小倉 ロイヤルホール ①②
- ◇出席者 124名

II 公益目的事業2：北九州イノベーションギャラリー指定管理者事業

「地域において培われた産業技術とその心を継承する」、「イノベーションを促進する環境を整え、イノベーターを育成する」、「次世代イノベーターを育成する」、「技術者OB・OGの経験を活かす」、「多様なネットワークを構築する」、「固有の価値・魅力を発信する」の基本方針のもと各種事業を精力的に展開すると共に、官営八幡製鐵所の世界文化遺産登録の紹介とあわせて、当地固有の歴史的風土と、そこに蓄積してきた「人材」「技術」「産業遺産」の3つの資産を活用し、企画展の開催や市民セミナー・見学ツアー等様々なイベントを意欲的に実施した。

※事業報告の具体的な内容は、
「令和元年度北九州イノベーションギャラリー指定管理者事業報告書」(別紙3)
の通り。

III 法人運営事業

「公益法人法」を遵守することにより、法人運営を適切に維持・管理し、かつ、当協議会の公益目的事業を円滑に遂行するために必要な、組織運営体制および財務基盤の強化を図った。

1. 事業運営・管理体制の強化

北九州市の活性化におけるKPECの機能と役割を踏まえて、地域活性化の連携軸としてのKPEC業務執行体制を構築すると共に、中長期的な視点を踏まえた運営体制の整備を行った。

2. KPECの経営基盤の強化

1) KPECの中期経営計画の編成

創設30周年の節目を踏まえて、新しい事業運営体制の構築を行うと共に、産学官民の推進の連携軸となるべき新しいKPECの在り方を再確認し、今後の事業運営の基本的指針となる中長期計画の検討を開始した。

2) 会員募集と会員サービスの向上

(1) 会員募集の強化

会員情報の整理を行い、『K P E Cパンフレット』を活用して、新規会員募集ならびに賛助会員への賛助会費の納入を促進した。

特に今年度は、「設立 30 年記念誌」を配布し、加入促進を図った。

<令和元年度賛助会員状況>

◇令和元年度賛助会員数：89名（対前年：▲4名）

◇令和元年度賛助会費額：2,120千円（対前年▲110千円）

(2) 会員サービスの向上

賛助会員に対して、K P E Cが実施する各種地域活性化事業への案内、行政や他団体からの講演会開催等の情報提供を行い、会員との協働による地域活性化に務めた。

3. 会議等の実施

定款等に基づき、所定の会議を開催した。

なお、第2回定時理事会（令和2年3月）および第2回定時評議員会（令和2年3月）については、新型コロナウイルス感染リスクを考慮して、書面による審議とした。

1) 理事会の開催

①定時理事会

第1回：令和元年6月7日

第2回：令和2年3月2日（書面決議）

②臨時理事会

令和元年6月21日

2) 評議員会の開催

①定時評議員会

第1回：令和元年6月24日

第2回：令和2年3月16日（書面決議）

3) 執行役員会議の開催（月1回開催）

・第1回：平成31年4月12日

・第3回：令和元年6月12日

・第5回：令和元年8月22日

・第7回：令和元年10月29日

・第9回：令和元年12月16日

・第11回：令和元年2月20日

・第2回：令和元年5月16日

・第4回：令和元年7月23日

・第6回：令和元年9月24日

・第8回：令和元年11月26日

・第10回：令和元年1月27日

・第12回：令和元年3月23日

別紙 1

北九州地域産業人材育成フォーラム
令和元年度事業報告書

I 概況

令和元年度の北九州地域産業人材育成フォーラムは、フォーラムのポリシーである

- (1)産学官民の連携による新しい人材育成の持続型地域システムの構築
- (2)地域産業の成長単位である中堅・中小企業の経営力（人材力）の強化
- (3)北九州市の都市戦略として地方創生（産業政策）の実践モデルの創発

を実現するために、新規産業人材のキャリアアップと雇用機会創出を目的とする「①高度人材育成プログラム」、中核専門人材の育成と経営管理者の育成を目的とする「②社会人育成プログラム」、早期工学教育の環境づくりを目的とした「③青少年育成プログラム」、フォーラム事業の持続的発展のための運営環境づくりと、産学官を挙げたフォーラム事業の地域システム化を推進する「④地域クラスター形成プログラム」を実施した。

① 高度人材育成プログラム

「地域連携型インターンシップ事業」は「研修型(短期)インターンシップ」の拡充に加え、「実践型(長期)インターンシップ」の推進、「産医大生」を対象にしたインターンシップの事業化を推進した。また、事業運営については、連携校インターンシップコンソーシアムによる連携校の主体的事業参加の環境づくりを行った。

② 社会人育成プログラム

中堅・中小企業の経営・管理者育成を目的として、北九州市立大学大学院マネジメント研究科（K2BS）と連携して「採用力強化セミナー」「実践経営車座講座」を実施した。

③ 青少年育成プログラム

理工系イベント紹介ウェブサイト「北九州かがくの玉手箱(愛称: かがたま)」の運用を開始し、理工系イベントの紹介を実施した。早期工学教育の環境づくりについては、北九州イノベーションギャラリーとの協働による事業運営の環境づくりを行った。

④ 地域クラスター形成プログラム

フォーラム運営組織・体制の強化、フォーラム事業の広報システムの構築とプロモーションの実施および各種関連調査及び統計を実施し、フォーラム事業の地域システム化を推進した。

令和元年度の北九州地域産業人材育成フォーラムの活動結果は、以下の通りである。

II. 事業報告の内容

1. 高度人材育成プログラムの企画、運営

「地域連携型インターンシップ」の中核事業である研修型(短期)インターンシップの拡充を図るとともに、実践型(長期)インターンシップの事業化のための環境づくりを実施した。

1) 地域連携型インターンシップ事業の拡充、実施

(1) 研修型(短期)インターンシップ事業の拡充、実施 (継・新)

大学から職場・社会への円滑な移行の確保のための社会人基礎力の修得と地元中堅・中小企業の認知向上による就職機会の創出等を目的に、連携校と協働で「研修型(短期)インターンシップ」事業を実施した。

① 令和元年度 研修型(短期)インターンシップ実績 (継)

	H27 年度		H28 年度		H29 年度		H30 年度		R 元年度	
	登録	実施	登録	実施	登録	実施	登録	実施	登録	実施
学校(校)	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6
企業(社)	95	67	88	53	88	39	83	32	86	39
学生(人)	135	118	103	90	74	65	74	65	85	76

※九工大からは2年生5名が参加 (H30年度3名)

② 研修型(短期)インターンシップ事業の運営体制の確立 (継)

連携校のインターンシップ担当教員及び関係部門スタッフにより構成する“地域連携型インターンシップ運営コンソーシアム”を開催し、フォーラム事業の運営の課題と改善の方向性について協議を行った。

〈参考：主な協議事項 (抜粋) 〉

- ・企業情報の公開内容の課題と改善策の検討 (学生の理解促進・企業の魅力発信)
- ・エントリー方法の改善 (手作業の軽減)
- ・マッチングの負荷軽減の検討
(エントリーシートに第二次希望まで記入⇒100%マッチングを目指して)
- ・フォーラムホームページへの企業研修事例の掲載
(学生が企業を選びやすい、やる気がでる)
- ・域外学生の受け入れ

③ 北九州域外工学大学生の地域連携型インターンシップ受け入れの検討 (新)

北九州市の要請により、北九州地域企業の認知度の向上による就職機会の創出を目的に、フォーラム連携企業による域外工学系大学生のインターンシップ受け入れの事業化を検討した。域外の学生がID・パスワードを外し、自由にフォーラムホームページへアクセスできるようにシステムの変更を実施した。

④ キャリアアップ型インターンシッププログラムの開発と環境づくりの推進 (新)

連携校における学生のキャリア形成と就職指導とを有機的に組み合わせて、年次に合わせて段階的にステップアップする『キャリアアップ型インターンシッププログラム』の受入れ企業の選抜を含め北九大と検討を行った。北九大の2020年入学の1年生から実施予定。

(2) 実践型(長期)インターンシップ事業の拡充と環境づくり (継)

九州工業大学を中心に「実践型(長期)インターンシップ」の事業スキームの研究と、大学の実施環境づくりを行うと共に、「イノベーション誘発型」「課題解決型」等の実践型(長期)インターンシップを実施した。

実施企業からは、「学生のアウトプットのレベルが高い」と高い評価を受けた。

① 令和元年度 実践型(長期)インターンシップ実績 (継)

企業・組織名	大学：九工大	
	工学部	情報
プラテック	1名	
計測検査	1名	
福山コンサルタント		2名
リョーワ	1名	
日本ヒューム	2名	
ICS SAKABE	1名	
合計6社	6名	2名

<実践型(長期)インターンシップ実績推移>

	H29年度	H30年度	R元年度
実施企業	5社	6社	6社
参加学生数	6名	7名	8名

② 実践型(長期)インターンシップのモデル化と運営マニュアルの作成 (継)

企業ヒヤリングを実施し、企業からの改善要望等を反映させた運営マニュアルを作成(改訂)した。

(3) 留学生対象の地域企業研究型(短期)インターンシップ事業の企画、開発 (継)

連携校に在籍する留学生の地域理解の促進と地域企業の高度外国人材採用ニーズの拡大に対応するため、留学生を対象とした研修型(短期)インターンシップ事業の企画・開発の検討を行った。令和2年度から企業情報に英語版を追加、ホームページ、募集パンフレットに英語併記するなどの準備を開始した。

(4) 産学協働による実践的教育 (Co-op 教育) システムの実施のための環境づくり

① 北九州高専の実践型(長期)インターンシップコースの拡充・支援 (継)

北九州高専の長期インターンシップ(本科、専攻科)の拡充に向けての支援(フォーラム協働企業の紹介)を実施した。

<北九州高専長期インターンシップ実施実績> ※フォーラム協働企業への参加者のみ

	H30年度		R元年度	
	専攻科	本科	専攻科	本科
参加企業	9	13	6	17
参加学生	10	18	8	24

② 産業医大環境マネジメント学科のインターンシップコースの開発・支援（継）

平成 30 年度からフォーラム事業に参画している産業医科大学環境マネジメント学科の研修型（短期）インターンシップの開発・支援を実施した。

＜産業医大環境マネジメント学科のインターンシップ実績＞

	H30 年度		R 元年度	
	登録	実施	登録	実施
企業(社)	4 6	2	4 2	2
学生(人)	2	2	4	4

2) 「地域連携型インターンシップ」運営のためのサポート事業等の拡充、整備（継）

(1) フォーラム事業協働企業（ものづくりバスター企業）研究・交流会の企画、開催（新）

学生や教員向けに、以下の目的で「北九州ものづくり企業研究会・交流会」を開催した。

＜企業研究・交流会の目的＞

- ・北九州地域のものづくり企業を知る機会を提供する
- ・インターンシップ参加に向けての参加意識・参加意欲向上を図る
- ・企業と学生の相互理解によりインターンシップのミスマッチを予防する
- ・ものづくり企業への就職機会に繋げる

結果、参加した学生・企業ともに非常に満足度が高く、学生からは「多くの企業情報を得られる機会を得られた」と好評だった。

＜北九州ものづくり企業研究会・交流会開催実績＞

【ひびきの会場】

- ◇日時：令和元年 5 月 2 9 日(水) 13:00～17:00
- ◇会場：北九州学術研究都市会議場イベントホール
- ◇対象大学：北九州市立大学国際環境工学部、九州工業大学生命体工学研究科
- ◇出展企業：21 社
- ◇参加者数

学校	学科・専攻等	参加者
北九大	工学倫理受講生	1 4 8
	一般	2 3
九工大	生命体工学研究科	2
合計		1 7 3

【戸畑会場】

- ◇日時：令和元年 6 月 1 日(土) 13:00～19:00
- ◇会場 九州工業大学 戸畑キャンパス
(記念講堂：企業セミナー 中村記念館：企業研究会 生協食堂 企業交流会)
- ◇対象大学：九州工業大学、北九州市立大学、西日本工業大学、北九州工業高等専門
- ◇出展企業：3 6 社

◇参加者数

学校	学科・専攻等	企業 セミナー	企業 研究会	企業 交流会	延べ 参加者
九工大	キャリア形成入門履歴生	129	123	54	306
	電気・電子	34	33	24	91
	一般	100	99	40	239
西工大			8		8
北九州高専		11	13	1	25
その他		1	1		2
合計		275	277	119	670

(2) 連携校における地域連携型インターンシップの周知と参加促進事業の実施 (改)

連携校と地域企業が協働実施するフォーラムの「地域連携型インターンシップ」の運営目的と活用意義を学生に周知し参加を促進するため、連携校における各種事業プロモーションを実施した。「インターンシップガイダンス」の運用方法の改善と広報チラシの配布等の学内プロモーションについての企画検討を行った。

(3) 「学生(教員)のための北九州ものづくり企業発見ツアー」の実施 (改)

学生、大学教員及びスタッフの地元企業の認知向上を目的とした、北九州ものづくり企業見学ツアーを北九州商工会議所の産業観光事業と連携して実施した。

より多くの企業を見学できるように学校ごとの見学ルートとスケジュールを編成し、実施した。

<学生(教員)のための北九州ものづくり企業発見ツアー実施結果>

開催日	見学企業	参加学校	参加学生
令和2年 2/18(火)	日本ヒューム(株) (株)しろみず 日本鉄塔工業(株)	九工大	2
令和2年 2/19(水)	(株)カンノ製作所北九州工場 (株)陽和 (株)ヨーワ	西工大	5
令和2年 2/26(水)	計測検査(株) アイム電機工業(株)水巻工場 (株)マツシマ メジャテック	北九大	1
		北九高専	5
合計		4校	13

参加企業からは、

- ・少数での見学だったので団体時では入れない場所も見せることができた。
- ・学生一人一人の声をきく(会話をする)ことができた。

学生からも

- ・工業見学時になどの企業側の説明も聞きやすく、また質問もし易かった
- ・じっくり見学することができた

企業および学生から満足が得られた。

(4) 「北九州地域ものづくりベストワン企業情報誌」の制作と活用の推進 (改)

連携校におけるインターンシップ参加、地元就職促進のための地元企業情報の周知促進ツールとして、フォーラム協働企業（北九州地域ものづくりベストワン企業）を収録したオリジナル企業情報誌を作成し、連携校における各分野での利用を図った。

< 配布先・部数 >

学校配布：4,200部（九工大、西工大、北九大、高専、早稲田、産医大）

掲載企業：250部 K T S：100部

(5) 地域連携型インターンシップ運営のためのコーディネート機能の強化 (改)

フォーラム事業の拡充に向けて、事業を協働する中堅・中小企業の新規開拓力の向上を目的に K T S のコーディネート体制を強化した。

< 強化内容 >

企業毎に主担当、副担当コーディネーターを据え、新メンバーの再配置等を実施。

（副担当に新人4人を新規に配置し、O J Tを実施）

(6) インターンシップ事業の円滑運営のための各種アンケートの実施 (継)

「地域連携型インターンシップ」の円滑な運営のために必要な各種アンケート・調査を実施した。

- ◇ 地域連携型インターンシップ実施前学生の意向調査(全大学:関係学部全学生)
- ◇ 地域連携型インターンシップ実施後学生の意向調査(全大学:IS実施学生)
- ◇ 地域連携型インターンシップ実施企業の事業実施後状況調査(IS実施全企業)
- ◇ 連携大学・高専におけるインターンシップ実施状況調査(全大学、全学部)
- ◇ 地域企業におけるインターンシップ実施状況調査(実施企業選抜)

< アンケート結果概要 (前年度との比較) >

- ・学生の参加動機「働くことを体験したい」「就職活動に役立つ」が増加している
- ・学生のインターンシップ先選定に関して、企業からの発信情報が明瞭になっている
- ・学生のインターンシップの満足度がアップしている（満足+どちらかといえば満足で97%）
- ・受入企業の学生を育てているという意識が向上している
- ・企業の受入学生の評価（学習意欲、目的意識、専門知識・能力）が向上している
- ・企業が学生と一緒に課題に取り組みたい(テーマ研究型)というスタンスが窺えるようになった

2. 社会人育成プログラム事業の企画・実施 (継)

中堅・中小企業の経営管理人材及び中核技術人材のリカレント教育のために、連携大学・高専の地域貢献事業や制度等の活用促進事業を行うと共に、北九州大学大学院マネジメント研究科（K2BS）と連携した経営管理者の経営力強化のための事業を企画・実施した。

1) 中堅・中小企業の中核技術人材等の育成に向けた事業の企画・実施 (継)

中堅・中小企業の中核技術者の技術力強化とスキル向上を目的とした、フォーラム連携校の制度や機能を活用したリカレント教育を企画・実施した。

(1) 北九州テクニカルカレッジプログラムの活用促進 (継)

フォーラムの社会人育成プログラムの研究により、平成29年度に地域企業の技術者等の研修・教育システムとして制度化された、九工大の「学術指導制度」の活用の促進を図るため、フォーラム協働企業へのPR(周知)を実施した。

※学術指導制度は令和2年度から「学術コンサルティング」へ名称変更

<学術指導制度活用状況>

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
活用実績(全体)	19件	31件	36件
(内、市内企業)	(5件)	(4件)	(7件)

※令和元年度は令和2年1月時点

2) 中堅・中小企業の経営・管理者育成に向けた事業の企画・実施 (継)

北九州大学大学院マネジメント研究科(K2BS)と連携して、地域企業の経営、管理人材のMBA取得促進と経営・管理者育成のための事業を企画・実施した。

(1) 「MBA サテライトフォーラム」の企画・実施 (継)

北九州大学大学院マネジメント研究科(K2BS)の公開講座として、地元中堅・中小企業の採用力強化を目的としたプログラム「中堅・中小企業向け『採用力強化セミナー』」を実施した。

<採用力強化セミナー実施実績>

◇日時：DAY1 令和元年9月15日(木) 15:00~18:00

テーマ：「企業の思いを伝える！」

DAY2 令和元年9月20日(金) 15:00~18:00

テーマ：「伝わるプロモーションとは？」

DAY3 令和元年11月28日(金) 15:00~18:00

テーマ：「2020年度に向けたこれからの具体的取組み！」

◇参加者：企業参加者 20社・24名 学生参加者 20名

(2) 経営管理者のための「実践経営学講座車座塾」の企画・実施 (継)

北九州大学大学院マネジメント研究科(K2BS)の教員による、地域企業の経営分析(論文・レポート)を教材として、中小企業経営・管理者を対象にした実践経営車座講座実績を実施し、ケースブックの出版を行った。

<実践経営車座講座実施実績>

《第6回》

◇日時：令和元年8月26日(月) 16:00~18:00

◇会場：社会起業大学・九州校

◇テーマ：「積極的な資源蓄積が差別化戦略と新規事業を創造する」

◇ゲスト：寺本 充寛 氏 (佳秀工業株式会社常務取締役ヘルスケア事業本部長)

◇ディスカッション・リーダー：高橋 秀直 氏 (K2BS 准教授)

◇参加者：16名

《第7回、8回》

◇日時：令和2年2月14日(金) 15:30～18:10

◇会場：北九州市立大学小倉サテライトキャンパス

◇テーマ：第7回：ターゲットはどこまで絞るか？ ～スタジアムパンツのペルソナとは～
第8回：老舗企業の再ブランド化の戦略 ～ヤギシタ再生の次のステップは

◇コーディネーター：城戸 宏史 氏 (K2BS 教授) 高橋 秀直 氏 (K2BS 准教授)

◇参加者：14名

3. 青少年育成プログラム事業の企画・運営 (継)

文部科学省の理工系人材育成戦略及び「先進地におけるものづくり教育の実施状況調査」を踏まえて工業都市北九州市の環境を活用した産学官の連携による早期工学教育推進の環境づくりを実施した。

1) 北九州地域科学・工学教育情報マップ“かがたま”の運営・管理 (継)

平成30年度に開設した理工系イベント紹介ウェブサイト「北九州かがくの玉手箱(愛称:“かがたま”)」の小中学校等教育機関をはじめ、地域や市民の活用促進のための環境づくりを実施した。

今後、「運営協議会」をベースに改善に努めながら更なるサイトの進化を目指す。

(連携教育機関・施設)

九州工業大学・北九州市立大学・西日本工業大学・北九州工業高等専門学校・北九州市立児童文化科学館・北九州市立いのちの旅博物館・北九州市環境ミュージアム・北九州イノベーションギャラリー・TOTOミュージアム・安川電機みらい館

<令和元年度 “かがたま” WEBサイト 訪問 (アクセス) 件数>

月度	04月	05月	06月	07月	08月	09月	10月	11月	12月	01月	02月	03月
件数	3,477	3,015	4,554	3,509	2,597	1,675	1,487	2,407	2,277	1,696	1,457	6,103

2) ものづくり教育の事業開発・試行とコンテンツの企画・製作の実施 (継)

(1) ものづくり教育モデル事業の企画、開発の実施 (継)

北九州イノベーションギャラリーと連携し、北九州地域の産業、技術のポテンシャルを生かしたものづくり教育事業の企画の開発と運営ノウハウの研究を行った。

<北九州イノベーションギャラリーで実施した早期工学教育関連事業>

- ① デザインセミナー (小学生対象)
- ② ものづくりセミナー (高校生対象)
- ③ ジュニア向け工作教室 (小学生対象)
- ④ 企画展連動ワークショップ (小・中学生対象)
- ⑤ デジタルものづくり教室 (小学生対象)
- ⑥ プログラミング教室 (小学生対象)
- ⑦ 東田サマースクール (小学生対象)
- ⑧ イノベーション見学ツアー (小学生対象)
- ⑨ 高校生インターンシップ (高校生対象)
- ⑩ 世界一行きたい科学広場 in 北九州 (小・中・高校生対象)
- ⑪ 実践型インターンシップ (高専対象)

3) フォーラム協働企業によるものづくり教育の環境づくりの推進 (継)

フォーラム事業を協働する企業との連携によるものづくり教育のための環境づくりを推進した。

(1) 「北九州の企業人による小学校応援団」と連携したものづくり教育の環境づくり (継)

「北九州の企業人による小学校応援団」と連携し、フォーラム登録企業等によるものづくり教育・キャリア教育のための出前講座を実施した。

<出前講座例>

- ・燃料電池教室 (水と電気分解実験付) ・ガス管万華鏡作り(冷却実験付)
- ・磁石教室 (磁石を利用したひびのを見つけ方実験) ・レゴブロックを使った設計体験 等

4. 産業人材育成の地域クラスター形成に向けた環境整備 (継)

各事業プログラムの運営体制の拡充、整備と並行して、協働企業の会員化による事業の運営基盤の強化等、事業の地域システム化と持続的発展のための体制づくりを進めた。

1) フォーラム運営組織・体制の強化 (継)

フォーラム協働企業(事業実施企業 160 社)をベースにして、フォーラム事業運営の基盤企業となる有志会員企業の登録を促進した。

◇新規登録企業数 : 16 社 (令和元年度フォーラム有志会員企業数 : 51 社)

2) フォーラム事業の広報システムの構築とプロモーション事業の実施 (継)

産業人材育成フォーラムの目的と意義を明確にし、連携校、及び地域企業に対して事業を周知すると共に、事業の実施基盤の拡充のためのプロモーションを実施した。

(1) 産業人材育成フォーラムの広報プロモーションの検討 (継・新)

産業人材育成フォーラム事業の広報プロモーションを検討した。

- ① 短期・長期インターンシップの案内チラシ(紙)・ポスターの配布(2020 年度インターンシップ)
- ② 「北九州地域産業人材育成フォーラム」ホームページの拡充

<主なホームページの拡充内容>

- ・「企業の研修事例」の紹介 (学生にとって“選びやすい” “やる気がでる”)
- ・「先輩の声」(長期インターンシップの体験ビデオ)の紹介 等

3) 各種関連調査及び統計の実施

フォーラム事業の高質かつ円滑な運営のために必要な関係情報の集約と事業の実施結果の評価の分析等に活用するための各種調査及び統計を実施した。

(1) インターンシップ関係調査・統計の実施 (継) 【再掲】

インターンシップに関する各種調査、統計を実施した。

- ◇地域連携型インターンシップ実施前学生の意向調査(全大学:関係学部全学生)
- ◇地域連携型インターンシップ実施後学生の意向調査(全大学:IS実施学生)
- ◇地域連携型インターンシップ実施企業の事業実施後状況調査(IS実施全企業)
- ◇連携大学・高専におけるインターンシップ実施状況調査(全大学、全学部)
- ◇地域企業におけるインターンシップ実施状況調査(実施企業選抜)

(2) 就職率関係の調査・統計実施 (継)

地元雇用促進に対するフォーラム事業の貢献度判定、学生の就職動向等を確認するため就職状況調査を実施した。

◇連携大学・高専における地元就職状況調査 (全大学:全学部全学科別)

◇地域連携型インターンシップ参加学生の地元就職状況調査 (全大学:全学部)

以上

令和元年度 産業人材育成フォーラム 決算（案）

（単位：円）

	項目	予算額	決算額	決算の増減	内 訳
収 入	1)負担金	11,000,000	11,000,000	0	
	①北九州市	10,000,000	10,000,000	0	
	②北九州活性化協議会	1,000,000	1,000,000	0	
	2)会費	3,400,000	3,015,000	▲ 385,000	
	①企業会員	1,800,000	1,530,000	▲ 270,000	企業負担金@30,000×51社
②大学・高专	1,300,000	1,300,000	0	大学等会費@300,000×4校 @100,000×1校	
③交流会	300,000	185,000	▲ 115,000	合同会議交流会	
3)雑収入	1,770,000	2,315,064	545,064		
①出展料等	1,750,000	2,255,000	505,000		
②企業見学バスツアー補助	20,000	60,000	40,000		
③預金利息		64	64		
4)前年度繰越金	500,000	502,423	2,423		
	【収入合計】	16,670,000	16,832,487	162,487	

	項目	予算額	決算額	決算の増減	内 訳
支	1)人件費	2,000,000	306,910	▲ 1,693,090	
	①事業担当人件費	1,500,000	0	▲ 1,500,000	
	②臨時的雇用人件費	500,000	306,910	▲ 193,090	アルバイト(データー入力等)
	2)謝金	200,000	0	▲ 200,000	
	①専門家謝金	200,000	0	▲ 200,000	
3)旅費	380,000	258,866	▲ 121,134		
①旅費等	200,000	258,866	58,866	近距離旅費 等	
②専門家招聘旅費	180,000	0	▲ 180,000		
4)委託料	10,720,000	13,566,804	2,846,804		
①KTS業務委託	2,960,000	3,052,000	92,000	KTS 業務委託料一式	
②KPEC業務委託	4,670,000	4,670,000	0	KPEC管理費、人件費一部負担等、業務委託料一式	
③その他業務委託	3,090,000	5,844,804	2,754,804	H P改修・企業研究会設営委託 等	
5)その他経費	3,370,000	2,134,339	▲ 1,235,661		
①会場借上げ料	550,000	255,481	▲ 294,519	企業研究会、企画・推進会議 等	
②印刷費	1,100,000	305,705	▲ 794,295	企業研究会配布資料、インターンシップパンフレット 等	
③通信運搬費	200,000	35,109	▲ 164,891	リーフレット送付 等	
④事務消耗品費	250,000	316,533	66,533	事務用消耗品費 等	
⑤会議費	120,000	280,637	160,637	会議時飲み物代 等	
⑥交流会費	300,000	185,000	▲ 115,000	交流会経費	
⑦使用料及び賃借料	800,000	720,280	▲ 79,720	企業見学バス代、事務局関係諸費	
⑧雑費	50,000	35,594	▲ 14,406	振込手数料 等	
	【支出合計】	16,670,000	16,266,919	▲ 403,081	
	次年度繰越金	0	565,568	565,568	

(参考資料)

令和元年度 北九州地域産業人材育成フォーラム 事業別支出

(単位：円)

項目	インターンシップ		その他	合計
	短期	長期		
1)人件費	95,142	178,008	33,760	306,910
①事業担当人件費	0	0	0	0
②臨時的雇用人件費	95,142	178,008	33,760	306,910
2)謝金	0	0	0	0
①専門家謝金	0	0	0	0
3)旅費	70,462	146,467	41,937	258,866
①旅費等	70,462	146,467	41,937	258,866
②専門家招聘旅費	0	0	0	0
4)委託料	5,109,015	7,134,248	1,323,541	13,566,804
①KTS 業務委託	1,648,080	1,403,920	0	3,052,000
②KPEC 業務委託	1,447,700	2,708,600	513,700	4,670,000
③その他業務委託	2,013,235	3,021,728	809,841	5,844,804
5)その他経費	779,345	1,184,470	170,524	2,134,339
①会場借上げ料	120,410	130,827	4,244	255,481
②印刷費	126,261	160,713	18,731	305,705
③通信運搬費	10,372	19,406	5,331	35,109
④事務消耗品費	106,297	180,149	30,087	316,533
⑤会議費	124,334	147,668	8,635	280,637
⑥交流会費	57,350	107,300	20,350	185,000
⑦使用料及び賃借料	223,287	417,762	79,231	720,280
⑧雑費	11,034	20,645	3,915	35,594
支出計	6,053,964	8,643,193	1,569,762	16,266,919

北九州の企業人による小学校応援団
令和元年度事業報告

I 支援事業の推進

企業等の協力を得て、親学推進プロジェクト、講師派遣プロジェクト及び社会体験プロジェクトとして児童への出前授業、教職員・保護者（PTA）向けの研修等を継続実施した。その他、本事業の継続的な発展と円滑化を図るために、市内教育関係者と経済界の連携・協力や交流を促進するための環境プロジェクトを実施した。

(1) 親学推進プロジェクト

PTAへの父親参加の促進、企業従業員を対象にした親学推進について、普及に向けた具体策を図ると共に、PTA活動支援についても継続実施した。

- ① **参加協力企業の従業員（児童の父母）のPTA総会など各種事業への参加促進**
校長会・PTA協議会・小学校応援団の連盟で小学校応援団参加協力企業に対して、4月にPTA総会や各種事業の案内を配布し、参加促進を図った。
- ② **参加協力企業における親学推進**
参加協力企業の従業員を対象に、小学校の現況や学校との関わり方等の理解促進を目的とした親学推進事業（出前説明会）をするための検討を行った。

(2) 講師派遣プロジェクト

児童を対象とする出前授業、教諭や管理職の研修会への講師派遣等についての環境づくりと支援を行った。

① 出前授業・研修の継続実施

企業等の協力を得て、児童への出前授業、教職員・保護者（PTA）向けの研修等を継続実施した。

<出前授業・研修実施状況>

- ◇対象校：129校（市内の市立全小学校）
- ◇登録テーマ数：133テーマ
- ◇申込校：69校（H30年：88校）
- ◇実施数：68校 235件（H30年：253件）

<出前授業・研修実施状況の推移>

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
対象小学校数	11	13	40	70	100	131	131	129
参加企業数	144	144	224	229	261	439	449	459
出前授業回数	児童向け	16	34	80	113	188	247	231
	教員研修	3	11	27	16	15	11	3
	保護者研修	2	4	7	5	7	3	1
	合計	21	49	114	134	210	222	235

② 出前授業・研修の業務円滑化の推進

a. ウェブシステムの改良について

現在、出前授業・研修について、申込みから実施及び報告までの情報共有を小学校とウェブシステム上で行っているが、小学校側のデータ入力に滞り、講師と最終確認報告や完了報告に対し、約半数の申込みについて、入力の督促をしていた。ウェブシステム上にリマインダー用の機能を付加し、業務の円滑化を図ることにより、未入力は大幅に減少した。

b. ガイドブックの制作と配布

出前授業のテーマ一覧や授業内容及び申込み方法などわかりやすく紹介する「ガイドブック」の制作と配布を継続して行った。また、講師企業への理解度を上げることが、小学校にとって安心して出前授業利用できることに繋がるため、講師企業紹介を企業と相談しながら盛り込んだ。

③ テーマの拡充に対応した出前授業の環境整備

企業からの出前授業の登録に加え、小学校側の希望テーマに対応した出前授業の環境づくりを行い、ニーズに対応した出前授業の充実を図った。

<登録以外のオリジナルテーマ実施件数>

◇ 5校 ◇ 10テーマ

a. 科学クラブ等のニーズに対応した出前授業の実施

北九州市教育委員会の要請による科学クラブに対応するテーマや、体験型のテーマに対する希望が急増し、課題となっている特定テーマへの申込み集中を解消するために、ものづくり企業や団体を中心にテーマの見直しや新テーマの開拓をするための検討を行った。

b. 小学校のニーズに対応した出前事業の実施。

平成 30 年度より試験的に実施している、小学校のニーズに対応したテーマへ対応する出前授業の実施について、協力企業等の環境を調査し、実施体制の構築を図るための検討を行った。

各講師協力企業のほとんどが、小学校の多様なニーズに対し、業務に支障がない限り対応を検討できる環境であることがわかった。

(3) 社会体験プロジェクト

児童の社会体験学習の支援・協力や、教諭や学校管理職の研修の受け入れについて、これまでも支援を行っているが、更に個々の小学校の要請に対応した環境調整と支援事業のための検討を行った。

(4) 環境づくりプロジェクト

小学校応援団事業の円滑な運営環境を構築するため、市教委等教育関係者と経済界の連携・協力・交流の促進を図った。

<小学校長との意見交換会の開催>

小学校応援団の支援活動をより実りあるものとして継続実施できるようにするためには、学校現場の意見を直に聞きながら活動を進めることが重要である。

今年度は、小学校長との意見交換会を 8 月 1 日に行った。

(5) 広報の充実化

小学校応援団事業は、北九州地域の企業が協働して、出前授業などを通じて、小学校支援を行う全国的にも珍しい取り組みである。また、当事業は、文科省が掲げる学校を核とした地域の創生を目指す「次世代の学校・地域」創生プランの実現に向けた具体的な取り組みであり、地域協働の体制づくりが求められる。

関係者のみならず、地域に周知する必要があるため、以下の項目について重点的に広報を実施した。

① 小学校関係者の認知向上と活用促進のための広報の実施

4 月にコーディネーターが小学校を訪問し、教員に対して小学校応援団の主旨及び内容、利用方法などの説明を実施し、事業の周知を図った。

② 地域企業等の認知向上と協力環境の構築のための広報の実施

パンフレットの配布やホームページによる事業紹介を積極的に実施し、企業への周知を図った。

③ 保護者や地域コミュニティ等の理解と協力環境の醸成のための広報の実施

小学校応援団のホームページをスマートフォン対応に変更し、地域コミュニティ等における小学校応援団事業の周知を図った。

II 支援体制の充実

(1) コーディネーターによる支援事業のサポート体制の充実

小学校応援団事業の実施については小学校をサポートし、事務局と学校を繋ぐコーディネーターは必須機能である。

支援事業の周知と進捗状況の管理等の活動強化のためにコーディネーターの役割と機能を明確にし、支援事業のサポートの充実を図るための検討を行った。

(2) 参加協力企業等の拡大

129校体制に対応した出前授業の実施環境の構築のため、市内の関係機関等の協力を頂きながら参加協力企業の拡充を行った。

◇参加協力企業

H30年度 449社 ⇒ R元年度 459社 (前年比+10社)

III 三者会議の開催

北九州市立小学校の教育支援に関する協定書（平成25年4月1日締結）に基づき、当応援団、北九州市教育委員会及び(公財)北九州活性化協議会との三者調整会議を4月23日開催し、支援事業の現状について共通認識を図るとともに、方針に関する調整を行う等、事業の円滑な推進を図った。

北九州の企業人による小学校応援団 令和元年度収支決算

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 3 1 日)

【収入】

(単位：円)

項目	予算額	実績額	説明
負担金	7,500,000	7,500,000	<負担金拠出額> 北九州市 5,500,000 北九州活性化協議会 2,000,000
利息		21	
計	7,500,000	7,500,021	

【支出】

(単位：円)

項目	予算額	実績額	説明
支援事業費	772,000	844,045	講師謝金等
コーディネーター 業務費	829,000	752,583	費用弁償等
広報・プロモーション 推進費	899,000	813,237	パンフレット作成等広報費、 ホームページ・システムの充実等
管理運営費	4,100,000	4,133,590	事務局職員経費 ※人件費に該当
事務局経費	900,000	956,566	通信運搬費、交通費、消耗品、 事務室等使用経費等
計	7,500,000	7,500,021	

北九州イノベーションギャラリー

令和元年度事業報告

I. 事業概要

北九州イノベーションギャラリー(以下「KIGS」)の施設管理・運営については、公益財団法人北九州活性化協議会(以下「KPEC」)が第三期指定管理者として、平成27年4月から単独にて6年間の施設管理・運営を受託。その5年目となる平成31年度～令和元年度については、下記の基本方針のもと各種事業を精力的に展開すると共に、官営八幡製鐵所の世界文化遺産登録の紹介とあわせて、当地固有の歴史的風土と、そこに蓄積してきた「人材」「技術」「産業遺産」の3つの資産を活用し、企画展の開催や市民セミナー・見学ツアー等様々なイベントを意欲的に実施した。

◆地域において培われた産業技術とその心を継承する。

日本が先進工業国へと成長する過程で、北九州は数多くの技術革新を経験し、技術・技能やこれらを支える経営・管理ノウハウなど膨大な知見を蓄積してきた。これらの財産を可能な限り調査し、保存・継承に努める。また、世界遺産を始めとする産業遺産の展示等を通して日本の近代化を支えたまち「北九州」への誇りとものづくりへの興味につなげる。

◆イノベーションを促進する環境を整え、イノベーターを育成する。

優秀な技術者、熟練技能者、デザイナーおよび大学の研究者などと連携し、技術動向やデザインなどの情報を提供するとともに、産学官の技術交流の場を提供することで、産業技術に対して幅広い視野を有し、知識融合等によるイノベーションを推進しうる人材の養成に取り組む。また、社会人再教育として、実践に必要な幅広い基礎知識の強化に取り組む。

◆次世代イノベーターを育成する。

産業技術や基礎科学の重要性について、青少年の理解を高め、技術やデザインへの探究心を育む。

◆技術者OB・OGの経験を活かす。

北九州市には、技術革新に関わった技術者が多く在住している。彼らの経験を活用し、技術の知と心の継承を行う。

◆多様なネットワークを構築する。

地域の企業および大学等高等教育機関のみならず、内外の博物館や研究機関と連携することで、高度な専門性を確保しつつ、サービスの内容や質の向上を図る。

◆固有の価値・魅力を発信する。

「イノベーションをテーマにした国内唯一の施設」としての当施設の独自性、魅力を高め、それを内外に発信していく。

【主な活動概況】

1 教育普及事業

主要講座であるイノベーションフォーラム(年1回)、技術革新セミナー(年1回)、デザインセミナー(年2回)は、若手技術者等新たな顧客層を開拓するため、時代の流れに即したものをテーマに設定し著名な講師を招いて開催した。また、これらの企画にあたっては、国内最先端技術を有する企業の協力やクリエイターにも参画頂き、最先端のイノベーションに関する情報を提供し、その

結果一步踏み込んだ理解と意識改革の醸成をすることが出来た。

世界遺産登録関係では、世界遺産登録にともなう旅行会社の旅行プランへの組み入れ提案などの積極的な働き掛けを継続して行った。

イノベーションフォーラムでは、本年度はカーナビ等のベースとなる「地図」の分野に関するテーマを取り上げ、「地図のイノベーション～その歴史と未来」というテーマで開催し、100名を超える参加者を得た。

本年度も KIGS デジタル工房では、企画展連動ミニ体験においてもデジタル工房で製作した部材を利用したワークショップを積極的に実施し、各種プログラムを推進した。

なお、これまでのニーズに合わせたプログラムや地道な誘致活動に加えて、ものづくり教室やものづくりミニ体験の開催頻度を大幅に増やしたこともあり、年間教育プログラム参加人数が前年度を大幅に上回り、本年度も過去最高値を記録した。

2 展示事業

春には、「ホンモノから学ぶとこうなった 食品サンプルからゴッホまで すごいぞ！そっくり展」を開催した。普段中々触れることのできない多彩なアイテムを展示したことでお子さんから主婦、カップルにも話題を呼び、前年度に引き続き大好評を博した。夏には、「気になるスポーツ道具展～アスリートを支える相棒たち」を開催した。秋には、東田ミュージアムパーク創造事業連携展として「いろ色ひろがる印刷展」を開催した。冬には、特別展として昨年度に引き続き「未来を見つめる高校生の作品展」、企画展として「磨き抜かれた職人の技～第2回北九州技の達人展」を開催した。

冬の企画展は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月28日より臨時休館となり、17日間の開催で終了してしまった。

3 調査研究事業

平成31年～令和元年度の調査研究は、3件の調査研究を行った。「北九州における水ビジネスの海外展開の歴史と発展」については、北九州市上下水道局の支援をいただき、公益財団法人 地球環境戦略研究機関北九州アーバンセンターの赤木純子氏にお願いした。「北九州におけるリサイクル技術の歴史と発展」については、日本磁力選鉱株式会社、株式会社アステック入江、光和精鉱株式会社、株式会社新菱、吉川工業株式会社、日鉄高炉セメント株式会社の北九州市内の企業6社のご協力のもと北九州市立大学の矢野仁史教授、城戸宏史教授と九州産業大学の垣迫裕俊教授にお願いした。「北九州における近現代建築の地域資源としての見える化」については、前年度の基礎編に引き続き活用編として佐久間治教授にお願いした。

国立科学博物館との共同研究においては、「自動車用ベアリングの技術系統化調査」を実施した。

4 図書・映像の収集及び公開、産業映像の制作

当施設の設定目的に沿った図書及び映像の収集に努めた。また、その公開を積極的かつ迅速に実施することにより、来館者に対して量的・質的向上とサービスアップを図っている他、新着本のホームページでの公開やメールマガジンで紹介するなどライブラリーの利用促進を継続している。さらに、ライブラリー入口にはイベントに合わせて来館者の興味を引く図書を配架している。

また、産業映像の収集について、市販映像2作品を購入した。

産業映像は、2年間に渡って実施した「北九州における近現代建築の地域資源としての意味と価

値」および「北九州における近現代建築の地域資源としての見える化」の調査研究内容をベースに、北九州市のおもてなしを公言している女優のえもとりえ氏をナビゲーターに起用し、北九州市主要部の産業史と近現代建築を紹介する「わたしの北九州」～近代産業発祥の地に刻まれた近現代建築を訪ねて～（約 30 分）を制作した。昨年に続いて日本語版を基に、英語、中国語、韓国語編を編集した。

産業映像の公開は、7月に開催した KIGS 市民セミナーで「ものづくり北九州の底ぢから」と題して、令和元年度に制作した「北九州オンリーワン企業物語Ⅱ」を公開した。同時に当館ホームページで全編（31 分）と各社単独編を配信(YouTube)している。また、例年通り TEPIA 先端技術館に寄贈し、同館のビデオライブラリーに登録されインターネット経由で一般公開した。その他の保有映像は、当館への訪問団体向けに個別に選択して上映を積極的に実施した。

5 貸出スペースの稼働アップや芝生広場の有効利用

“開かれた館”を目指し、多目的で有効なスペース提供を通じ、利用者のサービス向上に努めた。

プレゼンテーションスタジオおよび工房利用については、地道に利用者層の拡大を図った。

「世界一行きたい科学広場」や「KIGS 春のわくわくワークショップまつり（本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため 2 月 28 日より臨時休館となり中止）」の体験型集客イベントを実施することで、芝生広場の有効利用を図るとともに、来館者の誘引に引き続き努めた。

デジタル工房では、安価に材料等が準備できるため、本年度も KIGS オリジナルの内容でのものづくり教室やワークショップを多数回開催し、夏休み中の小学生中心に多くの利用者を集めることができた。今年度からは、成人女性をターゲットにしたイベントにも取り組んで好評を得た。

【成果】

上記の積極的事業展開、活発な広報・集客活動に取り組んできたが、2 月 28 日より新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時閉館となった結果、教育プログラム参加者数以外は計画した数値目標をわずかに達成できなかった。

◆計画数値目標の達成状況

入館者数	計画 68,000名	実績 67,890名	(計画比 99.8%)
企画展観覧者数	計画 26,000名	実績 25,212名	(計画比 97.0%)
教育プログラム参加者数	計画 14,000名	実績 23,808名	(計画比 170.1%)

II. 教育普及事業

教育プログラムへの参加者数は目標 14,000 人に対して実績が 23,808 人(目標達成率 170%)となり、2 年連続で 2 万人を超えた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館した 2 月 28 日から 3 月 31 日までの教育プログラム参加者見込み約 6,000 人を加えると、昨年度を上回り過去最高数を更新したと思われる。前年度に引き続き教育プログラム参加者数が大幅に増えた要因は、これまで魅力ある展示、教育プログラムを提供し続けてきたことにより当館の認知度が高まってきていることが考えられる。そして本年度は、①デジタル工房機能を活用し、幅広い世代向けに館外含め多くの魅力あるワークショップを開催したこと②夏と冬のビッグイベント参加者数が増加

したこと③東田 3 館連携事業で子供向けワークショップを複数回開催したこと 等が増加要因である。また、科学・産業技術に関する講演、報告会等の PR を強化し、参加者増に繋がったことも全体数の増加に寄与している。

1 フォーラム、企画展連動講話

(1)イノベーションフォーラム

開催日時	内 容	講 師	参加人数
11月1日 15:30～17:00	イノベーションフォーラム 2019 「地図のイノベーション～その歴史と未来」	(株)ゼンリン DB 企画部 副部長 大原 浩幸	112名

計 112名

(2)企画展連動講演会

開催日時	内 容	講 師	参加人数
6月29日 13:00～14:30	「江戸の匠の制作技術を探る ～放射光と中性子を用いた 鉄自在海老置物の非破壊分析」	昭和女子大学 歴史文化学科 専任講師 東京藝術大学 社会連携センター 非常勤講師 田中 眞奈子	52名

計 52名

2 講座、セミナー、技能講習など

(1)技術革新セミナー

開催日時	内 容	講 師	参加人数
5月25日 13:00～15:00	「明治日本の産業革命の世界文化遺産が 何故広域認定となったかを語る」	独立行政法人国立科学博物館 産業技術史資料情報センター長 鈴木 一義	71名

計 71名

(2)デザインセミナー

開催日時	内 容	講 師	参加人数
2月15日 13:30～15:00	「世界にひとつだけのランチョンマットを 親子でデザインしよう」 1日目 参加費:1,000円 小学4年生～6年生親子	北九州総合デザイナー協会	9名
2月22日 13:30～15:00	「世界にひとつだけのランチョンマットを 親子でデザインしよう」 2日目 小学4年生～6年生親子	北九州総合デザイナー協会	6名

計 15名

(3)KIGS市民セミナー

開催日時	内 容	講 師	参加人数
7月4日 14:30～15:55	「北九州オンリーワン企業物語Ⅱ」制作披露試写会 「東日本大震災とモーター修理屋の思い」	桑原電工(株) 前社長 野田 英治 クロスFM パーソナリティ 鶴田 弥生	117名
10月19日 13:00～14:30	～地域とともにローカル鉄道のブランド化～ 「平成筑豊鉄道『ことこと列車』はなぜ大好評なのか?」	平成筑豊鉄道(株) 代表取締役社長 河合 賢一	51名

計 168名

(4)ものづくりセミナー

開催日時	内 容	講 師	参加人数
7月2日 11:05～11:55	出前講座(福岡県立小倉工業高等学校) 「安全作業の基本 ～自校での実習・企業での実習に向けて」	(株)安川電機 白木 洋一	205名
9月2日 13:00～14:30	出前講座(北九州市立高等美容学校) 「ヘアカット&トークLIVEショー」	北九州技の達人 坂元 久文	117名
10月25日 10:00～12:00	出前講座(穴生学舎) 現代の産業とものづくり 「先人に学ぶプロフェッショナル」	北九州イノベーションギャラリー前館長 鹿毛 浩之	40名

11月24日 9:30～16:30	館外(八幡図書館) やはたアートフォレスト 2019 「貴金属の持ち物にネームを刻印してもらおう」	北九州技の達人 原田 昭人	52名
----------------------	---	------------------	-----

計 414名

(5)調査研究報告会

開催日時	内容	講師	参加人数
7月20日 13:00～15:00	「北九州における宇宙環境技術の歴史と発展」	九州工業大学 宇宙環境技術ラボラトリー施設長 趙 孟佑	115名
9月14日 13:00～15:00	「北九州における近現代建築の地域資源としての意味と評価」	九州工業大学大学院 工学研究院建築デザイン研究室教授 佐久間 治	123名
11月16日 13:00～15:00	技術の系統化調査報告会「クロック技術」	独立行政法人国立科学博物館 産業技術史資料情報センター 主任調査員 鈴木 哲郎	88名

計 326名

(6)共催イベント(ワークショップ)

開催日	内容	共催団体名	参加人数
毎月1回開催 計10回	共催シンポジウム 例会、共同研究発表会	公益社団法人日本技術士会北九州支部 CPD	452名
7月4日 16:00～16:45	KME セミナー 「北九州市の環境とSDGsの取り組み」	北九州市環境局総務制作部長 中川 正則	42名
1月23日 30日 2月6日 13日 20日	北九州市民カレッジ 「世界に誇る！北九州のものづくり現場を訪ねて」 (計5回)	北九州市生涯学習総合センター	130名
2月24日 10:00～12:00 14:00～16:00	「メタル・アニマルを作ろう！」	北九州市立美術館	26名

計 650名

3 各種ワークショップ、イベント

(1)KIGS(研究)倶楽部

開催月	回数	内容	講師	参加人数
4月～翌年3月 第1・3・5土曜日	23回	帆船模型クラブ「セーリングシップ」 例会、帆船模型製作	会員活動	599名

計 599名

(2)ジュニア向け工作教室

開催日	内容	講師	参加人数
5月25日 10:00～15:00	(館外)やはた中央区商店街 「ころころゴム動力車作り」 参加費:無料 園児・小学生親子	KIGS スタッフ	175名
6月22日 10:00～12:00 13:30～15:30	「回路で遊ぼう！LEDルーレット」 参加費:1,000円 小学3年生～6年生親子	九州工業大学 衛星開発プロジェクトメンバー	51名
9月14日 10:00～12:00 13:30～15:30	「回路で遊ぼう！電子スズムシ」 参加費:1,000円 小学3年生～6年生親子	九州工業大学 衛星開発プロジェクトメンバー	49名
9月14日 10:00～15:00	(館外)やはた中央区商店街 こどもサタデー笑店街「木製はしがたクリップ」 参加費:無料 園児・小学生親子	KIGS スタッフ	158名
11月10日 10:30、11:00 11:30、12:00 13:30、14:00 14:30、15:00	「手のひらサイズの人工衛星(貯金箱)を作ろう！」 参加費:100円 小学生親子	九州工業大学 衛星開発プロジェクトメンバー	63名
1月19日 10:00～12:00 14:00～16:00	「小倉織体験・真田紐を織ってストラップを作ろう！」 参加費 1,000円 小・中学生(小学生保護者同伴)	豊前小倉織研究会	46名

2月2日 10:00～12:00 13:30～15:00	「高専ワークショップ」 ・猫×7テッシュケース作り ・豆タロー作り ・キューブカレンダー作り ・お家のペンスタンド作り 各回4組 参加費:無料 小学生親子	北九州工業高等専門学校4年生 インターンシップ研修生4名	36名
------------------------------------	--	---------------------------------	-----

計 578 名

(3)企画展連動イベント・ワークショップ

①春企画展「ホンモノから学ぶとこうなった 食品サンプルからゴッホまで すごいぞ！そっくり展」

開催日	内容	講師	参加人数
5月5日 11:00～12:00 13:00～14:00	「パラグライダー飛行体験」 参加費:無料 小学4年生～6年生親子	北九州パラグライダー振興会	120名
5月5日 11:00～12:00 13:00～14:00 14:00～15:00	「甲冑着付け体験」 参加費:無料 小学生親子	筑前黒田二十四騎保存会	43名
5月12日 10:30～12:00 13:30～15:00	「食品サンプルを作ろう！」 参加費:1,000円 小学生親子	サンプル RIKI	103名
5月12日 13:00～15:00	「似顔絵の描き方」 参加費:無料 小学生親子、中学生	工房自由空間	61名
6月9日 10:00～16:00	「フィギュアの原型師 岩倉圭二とつくり」 参加費:無料 中学生以下	フィギュア原型師 岩倉 圭二	414名
6月9日 13:00～14:00	「影絵 森のおくりもの」 参加費:無料	音楽演奏 谷口、川上、有馬 影絵 有持	125名
6月23日 10:00～11:00 11:00～12:00 12:00～13:00	「レジンで作るアクセサリ」 参加費:200円 小学4年生～6年生親子	ナカノテツ 小倉本店	29名

計 895 名

②夏企画展「気になるスポーツ道具展～アスリートを支える相棒たち」

開催日	内容	講師	参加人数
8月17日 10:00～15:00	KIGS スポーツの日 「屋外型エアーツ具でスポーツアトラクションを楽しもう！」 「ハーネス装着で決めろ！ダンクシュート体験」 「5種すべてクリアしよう！スポーツゴール体験」 小中学生	・アミューズワークス ・サーティーンズ (中学生ボランティアグループ)	202名
8月18日 10:00～15:00	KIGS スポーツの日 「屋外型エアーツ具でスポーツアトラクションを楽しもう！」 「ハーネス装着で決めろ！ダンクシュート体験」 「5種すべてクリアしよう！スポーツゴール体験」 小中学生	・アミューズワークス ・サーティーンズ (中学生ボランティアグループ)	317名

計 519 名

③秋企画展「いろ色ひろがる印刷展 ～伝える・魅せる・感じる～」

開催日	内容	講師	参加人数
10月27日 10:00～11:00 13:00～14:00	「活版印刷でカードやノートを作ろう」 参加費:300円 小・中学生(小学生保護者同伴)	印刷博物館	61名
11月9日 9:00～16:30	「360° VR エアードーム」 参加費:無料	凸版印刷㈱	74名
11月10日 9:00～16:30	「360° VR エアードーム」 参加費:無料	凸版印刷㈱	202名
12月8日 10:00～10:40 11:00～11:40 12:00～12:40	「シルクスクリーン印刷体験 ～エコバッグを作ろう」 参加費:500円 小・中学生(小学生保護者同伴)	OIL MOUNT PRINTERS	60名

計 397 名

④冬特別展「令和元年度未来を見つめる高校生の作品展」

開催日	内容	講師	参加人数
1月19日 10:00～17:00	戸畑工業高校生による 「ミシンのこを使った組木細工にチャレンジしてみよう」 参加費:無料 小学生親子	福岡県立戸畑工業高等学校	46名

計 46名

(4)デジタルものづくり教室

開催日	内容	講師	参加人数
4月27日 ～30日 10:00、11:00 14:00、15:00	「くるくる回るキーホルダーを作ろう！」 参加費 200円 小学生4年生以上～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	37名
5月3日 ～6日 10:00、11:00 14:00、15:00	「くるくる回るキーホルダーを作ろう！」 参加費 200円 小学生4年生以上～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	47名
6月8日 10:00～12:00	「レーザーカッターで彫刻 マイイラスト壁掛け時計を作ろう！」 参加費 1,500円 小学生～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	11名
6月9日 10:00～12:00 14:00～16:00	「レーザーカッターで彫刻 マイイラスト壁掛け時計を作ろう！」 参加費 1,500円 小学生～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	14名
6月29日 10:00～12:00	「アクリルアクセサリ講座 ～かわいいアクリルをつかってみよう」 参加費 500円 小学生3年生以上～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	8名
6月30日 10:00～12:00 14:00～16:00	「アクリルアクセサリ講座 ～かわいいアクリルをつかってみよう」 参加費 500円 小学生3年生以上～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	18名
7月6日 10:00～12:00	「アクリルアクセサリ講座 ～かわいいアクリルをつかってみよう」 参加費 500円 小学生3年生以上～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	7名
7月7日 10:00～12:00 14:00～16:00	「アクリルアクセサリ講座 ～かわいいアクリルをつかってみよう」 参加費 500円 小学生3年生以上～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	17名
7月21～24日 10:00、11:00 14:00、15:00	「夏休みデジタルミニ体験 ～レーザーカッターで名前彫刻・かんざし風ヘアピン作り」 参加費 200円 小学生～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	91名
7月27日 10:00～12:00	「ダイヤルロック貯金箱作り」 参加費 500円 小学生親子	KIGS スタッフ、デジタル工房	20名
7月28日 10:00～12:00 14:00～16:00	「ダイヤルロック貯金箱作り」 参加費 500円 小学生親子	KIGS スタッフ、デジタル工房	34名
7月29日 10:00～12:00 14:00～16:00	「ダイヤルロック貯金箱作り」 参加費 500円 小学生親子	KIGS スタッフ、デジタル工房	34名
8月3日 10:00～16:00	(館外)福智町図書館・歴史資料館ふくちのち ワクワク科楽フェスティバル in ふくちのち 「食パンキーホルダー作り」 参加費:無料 幼児～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	430名
8月10日 10:00～12:00	「ダイヤルロック貯金箱作り」 参加費 500円 小学生親子	KIGS スタッフ、デジタル工房	19名
8月11日 10:00～12:00 14:00～16:00	「ダイヤルロック貯金箱作り」 参加費 500円 小学生親子	KIGS スタッフ、デジタル工房	40名
8月12日 10:00～12:00 14:00～16:00	「ダイヤルロック貯金箱作り」 参加費 500円 小学生親子	KIGS スタッフ、デジタル工房	38名
8月19日 9:30～12:30 13:30～16:30	3Dプリンター&電子工作入門 「LEDで光るオリジナルオブジェを作ろう」 参加費 1,000円 小学4年生親子～中学生	特定非営利活動法人 natural science Fukuoka 平岡 孝一	12名
8月23日 10:00～16:00	(館外)西日本総合展示場新館 北九州ゆめみらいワーク 2019 「アイスのしおり作り」 参加費:無料 幼児～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	695名
8月24日 10:00～16:00	(館外)西日本総合展示場新館 北九州ゆめみらいワーク 2019 「アイスのしおり作り」	KIGS スタッフ、デジタル工房	482名

	参加費:無料 幼児～一般		
9月8日 10:00、11:00 14:00、15:00	「くるくる回るキーホルダーを作ろう！」 参加費 200円 小学生4年生以上～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	13名
9月15日 ～16日 10:00、11:00 14:00、15:00	「くるくる回るキーホルダーを作ろう！」 参加費 200円 小学生4年生以上～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	31名
9月21日 ～23日 10:00、11:00 14:00、15:00	「くるくる回るキーホルダーを作ろう！」 参加費 200円 小学生4年生以上～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	30名
10月13日 10:00～12:00 14:00～16:00	「カラフル寄木でつくるオリジナルティッシュ箱」 参加費 600円 午前:小学生親子 午後:中学生以上	KIGS スタッフ、デジタル工房	27名
10月14日 10:00～12:00 14:00～16:00	「カラフル寄木でつくるオリジナルティッシュ箱」 参加費 600円 午前:小学生親子 午後:中学生以上	KIGS スタッフ、デジタル工房	17名
11月2日 10:00、11:00	レーザーカッターミニ体験 「おなまえ&イラスト彫刻マイ箸置きを作ろう」 参加費 300円 小学生～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	13名
11月3日 ～4日 10:00、11:00 14:00、15:00	レーザーカッターミニ体験 「おなまえ&イラスト彫刻マイ箸置きを作ろう」 参加費 300円 小学生～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	34名
11月17日 10:00～12:00	(館外)八幡図書館 やはたアートフォレスト 2019 「ダイヤルロック貯金箱を作ろう」 参加費 500円 小学生親子	KIGS スタッフ、デジタル工房	16名
11月23日 10:20～11:00	「銅のテープで紙に回路をつくろう！」 ～光るクリスマスカード～ 参加費 200円 小・中学生(小学生保護者同伴)	KIGS スタッフ、デジタル工房	3名
11月24日 13:30～14:30 15:00～16:00	「レーザーカッターで切ったパーツを選んで クリスマスリースを作ろう！」 参加費 300円 小学生親子～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	10名
11月30日 9:30～12:00 13:30～16:00	「電子工作でピカピカ光る オリジナル X'mas ツリーを作ろう！」 参加費 2,000円 小学生親子	ヒューマンアカデミーロボット教室 ×KIGS デジタル工房	46名
12月1日 10:30～11:30 13:30～14:30 15:00～16:00	「レーザーカッターで切ったパーツを選んで クリスマスリースを作ろう！」 参加費 300円 小学生親子	KIGS スタッフ、デジタル工房	19名
12月7日 10:20～11:00 11:20～12:00	「銅のテープで紙に回路をつくろう！」 ～光るクリスマスカード～ 参加費 200円 小・中学生(小学生保護者同伴)	KIGS スタッフ、デジタル工房	2名
12月14日 10:20～11:00 11:20～12:00	「銅のテープで紙に回路をつくろう！」 ～光るクリスマスカード～ 参加費 200円 小・中学生(小学生保護者同伴)	KIGS スタッフ、デジタル工房	4名
12月18日 11:20～12:00	「銅のテープで紙に回路をつくろう！」 ～光るクリスマスカード～ 参加費 200円 小・中学生(小学生保護者同伴)	KIGS スタッフ、デジタル工房	2名
12月15日 11:00～12:00 14:00～15:00	「スタンプとステンシルでかわいい年賀状づくり」 参加費 200円 小学生(小学生保護者同伴)	KIGS スタッフ、デジタル工房	15名
12月21日 10:20～11:00 11:20～12:00	「銅のテープで紙に回路をつくろう！」 ～光るクリスマスカード～ 参加費 200円 小・中学生(小学生保護者同伴)	KIGS スタッフ、デジタル工房	6名
12月22日 11:00～12:00 14:00～15:00	「スタンプとステンシルでかわいい年賀状づくり」 参加費 200円 小学生(小学生保護者同伴)	KIGS スタッフ、デジタル工房	15名
1月5日 14:00～14:40 15:40～16:20	「紙の回路で光るメッセージカードを作ろう！」 参加費 100円 小学生親子～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	6名
2月9日 11:40～12:20 14:00～14:40 15:40～16:20	「紙の回路で光るメッセージカードを作ろう！」 参加費 100円 小学生親子～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	19名
2月23日 11:00、13:00 14:00、15:00	レーザーカッターミニ体験 「おなまえ&イラスト彫刻はしとはしおきを作ろう」 参加費 300円 小学生親子～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	17名

2月24日 11:00、13:00 14:00、15:00	レーザーカッターミニ体験 「おなまえ&イラスト彫刻はしとはしおきを作ろう」 参加費 300円 小学生親子～一般	KIGS スタッフ、デジタル工房	24名
-------------------------------------	---	------------------	-----

計 2,423名

(5)プログラミング教室

5月29日～ 6月12日 10:00～12:30	連続講座(5回)「大人の電子工作&プログラミング」 参加費 5,000円 一般	PCN 北九州	39名
8月7日 10:00～12:00 14:00～16:00	「組み立てたロボットをプログラミングして 思い通りに動かそう！」 参加費:無料 小学3年生～6年生親子	ロボット・プログラミング教室 Jspace	18名
8月21日 10:00～12:00 14:00～16:00	「組み立てたロボットをプログラミングして 思い通りに動かそう！」 参加費:無料 小学3年生～6年生親子	ロボット・プログラミング教室 Jspace	23名

計 80名

(6)東田サマースクール 2019(参加人数は、KIGS 利用日のみの合計)

開催日	内容	参加人数
第1期 7月23日～26日	1日目 北九州イノベーションギャラリー:工房工作、企画展、映像、企画展、高炉	延べ 50名
第2期 7月30日～ 8月2日	2日目 環境ミュージアム:展示見学・エコ工作教室、地球の道見学 教育Pカウント外 3日目 いのちのたび博物館:化石レプリカ作成・博物館見学等 教育Pカウント外 4日目 北九州イノベーションギャラリー:デジタル工作、修了式	
第3期 8月6日～9日	参加費:1,800円(KIGS:800円) 小学4～6年生	延べ 45名

計 145名

(7)東田たたらプロジェクト 2019(市民たたら)

今回の操業は3釜で実施

3月15日の製品化イベントは新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期(日程未定)

開催日時	内容	詳細	参加人数
12月1日 7:30～17:00	本操業(東田第一高炉にて)	「親子製鉄本操業体験」 (ケラ製造量 赤班:3.2kg 黄班:4.45kg 緑班:3.64kg)	111名

計 111名

(8)イノベーション見学ツアー

普段見学出来ない工場や体験型ツアー、史跡を巡る見学ツアーを催行

タイガートラベル主催

開催日	内容	参加人数
8月12日 8:30～15:30	「親子で楽しむスポーツ施設 体験&バックヤードツアー」 クライミングジム&ショップ OD、ミニワールドスタジアム 小学3～6年生親子 参加費:大人2,500円、子供1,500円	10名
10月5日 8:20～17:30	「令和ゆかりの地を学ぶ～大宰府イノベーションバスツアー」 大宰府展示館、大宰府政庁跡、坂本八幡宮、太宰府天満宮、九州国立博物館 一般 参加費:5,000円	38名
11月23日 8:20～18:00	「八女の白壁町並み～和紙づくりまで伝統工芸見学ツアー」 八女福島の白壁の街並み散策、許斐本家、木下家の旧住宅、今里家、横町町屋交流館、 八女手すき和紙資料館、八女伝統工芸館、八女民俗資料館 一般 参加費:5,000円	36名

計 84名

(9)高校生向けインターンシップ

普通科高校にはマナー研修や業務体験

工業科高校には旋盤等の基本技能を実際の製品作りでどう活用するか、実践的な作業を多数経験

開催日	参加校	内容	参加人数
8月20日 ～23日	福岡県立戸畑工業高等学校1年	安全講習、技能実習、製品作り 旋盤等の実技を主体にマイスターも講師に交え 実践的な作業体験 3名×4日間実施	12名
10月30日 ～31日	福岡県立若松高等学校	1日目 9:30～16:00 導入プログラム、業務体験、 ワークショップ準備 2日目 8:30～16:30 業務体験、団体対応、ワークショップ準備 8名×2日間	16名

計 28 名

(10)「世界一行きたい科学広場 in 北九州 2019」

東田 3 館及び市内中学校、高校、近隣との連携イベント

開催日	内容	共催団体名	参加人数
8月17日	<p>①「つくってあそぶ！かんたん手づくり楽器」 福岡県立小倉工業高等学校 11:00～12:00 多目的スペース 18名(有料数:9名) 参加費:100円 小学1年生・2年生親子</p> <p>②「音を鳴らそう！お手軽スピーカーづくり」 福岡県立小倉工業高等学校 14:30～15:30 多目的スペース 18名(有料数:9名) 参加費:300円 小学3年生・4年生親子</p> <p>③「プロとデザインする 学校&おけいこに使う B4 手提げバッグ」 北九州総合デザイナー協会(KDA) 10:00～15:00 ワークスタジオB 20名(有料数:10名) 参加費:1,500円 小学4年生～6年生親子</p> <p>④「色塗りで仕上げる ゴムスクリューボートの工作」 セーリングシップ 10:00～15:00 デジタル工房 18名(有料数:9名) 参加費:1,500円 小学4年生～6年生親子</p> <p>⑤「コンピュータの分解・組み立てから学ぶパソコンの 仕組み」 北九州工業高等専門学校 10:00～12:00 工房 33名(体験者:18名) 小学4年生～6年生親子</p> <p>⑥「ロボット alilo を動かしゴールをめざそう」 株ロジコモン 11:00～12:00 ラウンジ 30名(体験者:11名) 小学1年生～3年生親子</p> <p>⑦「Scratch でシューティングゲームを作ってみよう」 株ロジコモン 14:30～15:30 ラウンジ 16名(体験者:9名) 参加費:300円 小学4年生～6年生親子</p> <p>⑧「手品を科学する！キミも今日からマジシャンだ」 劇団黄色い自転車 13:00～14:00 Pスタ 119名 小学生親子</p> <p>⑨出前 「風に向かって走る？ウインドカー工作」 九州山口 CO2 カウンセラー協会 13:00～15:00 北九州市環境ミュージアム 21名 小学4年生～5年生親子</p>	<p>福岡県立小倉工業高等学校 北九州総合デザイナー協会(KDA) セーリングシップ 北九州工業高等専門学校 株ロジコモン 劇団黄色い自転車 九州山口 CO2 カウンセラー協会</p>	293名

8月18日	「大集合！じっけん・たいけん・ものづくり」 10:00～15:00 ①「サイエンスステージショー」 プレゼンテーションスタジオ 168名 ②「空中コマ&ブーメラン工作」 ラウンジ 543名(体験数:259名) ③「かんたんハガキヒコキ作り」 多目的スペース 246名(体験数:123名) ④「あら不思議！不沈子づくり」 多目的スペース 126名(体験数:60名) ⑤「きれいな万華鏡づくり」 多目的スペース 63名(体験数:30名) ⑥「ペットボトル工作」 デジタル工房 450名(体験数:180名) ⑦「U-コン・ラジコン&ドローン ミニ体験&操縦デモ」 芝生広場 326名(体験数:108名) ⑧「恐怖の地震体験車」 芝生広場 144名 ⑨「ミニ工場でいたん紙器づくり」 芝生広場 420名(体験数:150名) ⑩「迫力の書道パフォーマンス」 中庭 78名 ⑪「ペットボトルロケット」 芝生広場 42名	東筑紫学園高等学校 照曜館中学校 福岡県立小倉高等学校 福岡県立戸畑工業高等学校 北九州工業高等専門学校 北九州市立田原中学校 大石産業㈱ その他団体 他	2,606名
-------	--	--	--------

計 2,899名

(12)実践型インターシップ 大学生向け

開催日	内容	参加校	参加人数
10月8日 ～2月2日 (全12回)	KIGS 実践型インターンシップ 「ワークショップ企画開発、実施」 9:00～16:00	北九州工業高等専門学校4年生 4名	48名

計 48名

(13)東田3館連携事業

開催日時	内容	講師	参加人数
5月12日 10:00～16:00	東田大通り公園 東田ミュージアムパークふれあいフェスタ2019 「カーネーションかざぐるま」「バッチンかえる」 参加費:無料	KIGS スタッフ	628名
8月1日 14:00～16:00	イオンモール八幡東 「カラフルぶどうのキーホルダー作り」 参加費:無料	KIGS スタッフ	288名
8月2日 14:00～16:00	イオンモール八幡東 「カラフルぶどうのキーホルダー作り」 参加費:無料	KIGS スタッフ	298名
10月26日 11:00～17:00	東田大通り公園 東田ミュージアムパーク オータムフェスタ2019 「カラフルぶどうのキーホルダー作り」 参加費:無料	KIGS スタッフ	291名
11月2日 14:00～14:30	「東田3館ミュージアムガイドツアー」 企画展見学	KIGS スタッフ	5名
11月17日 14:00～14:30	「東田3館ミュージアムガイドツアー」 企画展見学	KIGS スタッフ	2名

計 1,512名

(14)ものづくりミニ体験フェア

開催日時	内容	講師	参加人数
1月12日 12:00～15:30	「KIGSお年玉企画～ものづくりミニ体験フェア2020」 ・オリジナルメモパッド 413名(体験キット数:161) ・タイムカプセル缶 213名(体験キット数:84名) ・カラフルぶどうのキーホルダー 576名(体験キット数:200名) ・ブレイクキーホルダー 672名(体験キット数:240名)	KIGS スタッフ	3,594名

<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーウェイト 299名(体験キット数:96名) ・干支ねずみ凧 532名(体験キット数:148名) ・紙ヒコーキ 547名(体験キット数:152名) ・ダンボールこま 342名(体験キット数:113名) ・映像上映 教育プログラムカウントなし 		
--	--	--

計 3,594名

4 個人、団体向け教育プログラム

(1)個人向けプログラム

①ものづくりミニ体験

開催月	回数	内容	参加人数
4月	7回	「紙鉄砲とパッチンカエル」を作ろう ミニ体験 参加費:無料	47名
	6回	「食品サンプルミニ・サンタづくり」 春企画展連動 参加費:200円	164名
5月	12回	「食品サンプルミニ・サンタづくり」 春企画展連動 参加費:200円	363名
6月	10回	「食品サンプルミニ・サンタづくり」 春企画展連動 参加費:200円	305名
7月	2回	「食品サンプルミニ・サンタづくり」 春企画展連動 参加費:200円	50名
10月	8回	「手刷りでくまさん絵ハガキを作ろう」 秋企画展連動 参加費:200円	119名
11月	10回	「手刷りでくまさん絵ハガキを作ろう」 秋企画展連動 参加費:200円	71名
12月	12回	「手刷りでくまさん絵ハガキを作ろう」 秋企画展連動 参加費:200円	52名
1月	2回	「手刷りでくまさん絵ハガキを作ろう」 参加費:200円	5名
	4回	「缶バッチ作り」ミニ体験 参加費:50円	55名
2月	10回	「缶バッチ作り」ミニ体験 参加費:50円	116名

計 79回 1,347名

②デジタル工房 見学会

開催月	回数	内容	参加人数
4月	1回	入会前の事前説明会(デジタル工房利用手順及び各マシンの性能)	1名
5月	1回	入会前の事前説明会(デジタル工房利用手順及び各マシンの性能)	3名
6月	1回	入会前の事前説明会(デジタル工房利用手順及び各マシンの性能)	1名
7月	2回	入会前の事前説明会(デジタル工房利用手順及び各マシンの性能)	10名
8月	1回	入会前の事前説明会(デジタル工房利用手順及び各マシンの性能)	2名
9月	2回	入会前の事前説明会(デジタル工房利用手順及び各マシンの性能)	6名
10月	1回	入会前の事前説明会(デジタル工房利用手順及び各マシンの性能)	2名
11月	0回	入会前の事前説明会(デジタル工房利用手順及び各マシンの性能)	0名
12月	1回	入会前の事前説明会(デジタル工房利用手順及び各マシンの性能)	2名
1月	1回	入会前の事前説明会(デジタル工房利用手順及び各マシンの性能)	1名
2月	1回	入会前の事前説明会(デジタル工房利用手順及び各マシンの性能)	1名
3月	0回	入会前の事前説明会(デジタル工房利用手順及び各マシンの性能)	0名

③デジタル工房 機材利用講習会

開催月	内容	3Dプリンター	レーザーカッター
4月	入会時に実施(マシンの使用方法について説明)	0名	1名
5月	入会時に実施(マシンの使用方法について説明)	1名	2名
6月	入会時に実施(マシンの使用方法について説明)	0名	1名
7月	入会時に実施(マシンの使用方法について説明)	4名	6名
8月	入会時に実施(マシンの使用方法について説明)	1名	2名
9月	入会時に実施(マシンの使用方法について説明)	1名	5名
10月	入会時に実施(マシンの使用方法について説明)	1名	2名
11月	入会時に実施(マシンの使用方法について説明)	0名	0名
12月	入会時に実施(マシンの使用方法について説明)	1名	1名
1月	入会時に実施(マシンの使用方法について説明)	1名	0名
2月	入会時に実施(マシンの使用方法について説明)	0名	1名
3月	入会時に実施(マシンの使用方法について説明)	0名	0名

3Dプリンター 計 10 名

レーザーカッター 計 21 名

(2)企業団体向けプログラム

開催月	主な団体	団体数	参加人数
4月	大光炉材(株)、九築工業(株)、(株)安川電機	5 団体	128 名
5月	吉川工業(株)、黒崎播磨(株)	2 団体	27 名
6月	日本製鉄(株)八幡製鉄所	1 団体	23 名
7月	(株)アステック入江、エムイーシーテクノ(株)	2 団体	26 名
8月	日本製鉄(株)	1 団体	73 名
9月	(有)江口商事	1 団体	20 名
10月	(株)トヨタプロダクションエンジニアリング	2 団体	21 名
11月	(株)トヨタプロダクションエンジニアリング、岬工業(株)	4 団体	31 名
12月	(株)トヨタプロダクションエンジニアリング、(株)アカマ印刷	3 団体	47 名
1月	(有)新晃製作所	1 団体	11 名

計 22 団体 407 名

(3)一般団体向けプログラム

開催月	主な団体	団体数	参加人数
4月	さわやか鳴水館、夢つむぎ子ども支援センターくろーばー	8 団体	106 名
5月	いこい作業所、さわやかさくら山荘、八幡南ロータリークラブ	12 団体	210 名
6月	みどり園、あいフレンズ北九州、ジョブサポートセンター鞍手	16 団体	314 名

7月	世田谷工業振興協会、北九州市立年長者研修大学校穴生学舎	14 団体	220 名
8月	北九州 YMCA、北九州市立深町児童館、エデュパークキッズ科学号	10 団体	206 名
9月	JEITA 若手技術者交流会、到津校区衛星協会	11 団体	305 名
10月	乙植木楽しみ会、あけぼの学級、地球環境戦略研究機関(IGES)	11 団体	262 名
11月	企救丘校区老人クラブ連合会、コスモスポーツクラブ	17 団体	495 名
12月	枝光児童館、子ども支援センターくろーぱー	6 団体	94 名
1月	北九州観光市民大学、北九州国際技術協力協会	2 団体	42 名
2月	門司校区公民館、城浜校区男女共同参画推進室	7 団体	108 名

計 114 団体 2,362 名

(4)学校団体向けプログラム

開催月	主な団体	団体数	参加人数
4月	専門学校九州デザイナー学院、仙台育英学園高等学校	4 団体	506 名
5月	大連理工大学、北九州市立柳西中学校	2 団体	177 名
6月	福岡県立戸畑工業高等学校、北九州市立吉田小学校	4 団体	411 名
7月	熊本県立東稜高等学校、豊後高田市立香々地中学校	9 団体	309 名
8月	立命館大学、志位学童保育クラブ(志位小学校)	10 団体	435 名
9月	大野城市立大城小学校、佐世保市立大野中学校	11 団体	468 名
10月	北九州市立貫小学校、大宰府市立水城小学校	9 団体	537 名
11月	中津市立中津中学校、諫早市立北諫早中学校、国際基督教大学	10 団体	589 名
12月	北九州市立鴨生田小学校、筑紫野市立吉木小学校	8 団体	282 名
1月	北九州工業高等専門学校、北九州市立大蔵中学校	3 団体	101 名
2月	北九州市立藤末小学校	1 団体	51 名

計 71 団体 3,866 名

Ⅲ. 企画展示事業

■冬企画展 「長崎街道（シュガーロード）と北九州の路地裏」

会 期：平成 31 年 2 月 9 日～平成 31 年 4 月 7 日 58 日間（50 開館日）

主 催：北九州市、北九州イノベーションギャラリー

後 援：北九州市教育委員会、北九州市 PTA 協議会、北九州商工会議所、JR 九州、
西鉄バス北九州㈱

協 力：あぜのまち絵本美術館、黒崎歴史ふれあい館、子どもの館、シュガーロード連絡協議会、
長崎街道木屋瀬宿記念館、NPO 法人わくわーく、KIGS 倶楽部セーリングシップ（順不同）

制 作：北九州市漫画ミュージアム、㈱コルト

観 覧 料：無料

観覧者数：432 名（4 月 1 日～4 月 7 日：6 開館日） 通期：4,885 名

当館の位置する場所も通った歴史的イノベーションの路「長崎街道」について、近隣施設の協力のもと企画展を開催した。あわせて、中村 武氏と田中 時彦氏の名作 67 点を初公開した。また、長崎街道について製鐵所周辺の道筋を独自に検証した展示や長崎街道シュガーロードの銘菓を辿る展示、駄菓子・駄玩具体験コーナーや撮影コーナー等も用意し、幅広い層が楽しめるように工夫した。

■春企画展 「ホンモノから学ぶとこうなった 食品サンプルからゴッホまで
すごいぞ！そっくり展」

会 期：平成 31 年 4 月 20 日(土)～令和元年 7 月 7 日(日) 79 日間(68 開館日)

主 催：北九州市、北九州イノベーションギャラリー

後 援：北九州市教育委員会、北九州市 PTA 協議会、北九州商工会議所、JR 九州、
西鉄バス北九州(株)

協 力：大塚オーミ陶業(株)、東京藝術大学 COI 拠点、彫刻師 寺戸民男、(株)有菌製作所、
宝石・めがねのヨシダ、株タカミヤ、(株)釣研、ボストン・サイエンティフィックジャパン(株)、
(一社)福岡県歯科技工士会、(学)博多学園 博多メディカル専門学校、
(学)斎藤学園 九州歯科技工士専門学校、cloud.9 DENTAL LABORATORY、サンプル RIKI、
いさやま生活建築研究所、大分香りの博物館、筑前黒田二十四騎保存会、
北九州パラグライダー振興会、(株)サンゲツ、(株)住ゴム産業、(株)七彩、西日本美装(株)、
工房 自由空間、凸版印刷(株) (順不同)

観 覧 料：大人 300 円、小中学生 100 円、未就学児無料 わらべの日：中学生以下無料
(団体 30 名以上は 2 割引、障害者割引有り)

観覧者数：10,742 名

ファッション、釣り、鉄道模型、医療等の各分野を支える驚くほど精密な技術や文化財の復元に関わる優れた技術が、過去の制作技術の研究解明に役立つことや、自然の中の生き物の構造に学ぶバイオミメティックスの技術紹介等、様々な技術がこれからの生活を豊かにしていくことを紹介する展示とした。より身近に体感してもらうためにクイズや香り等を取り入れて楽しんでもらった。会場の後半エリアでは違法な偽造例を紹介する等の教育性も持たせた。

■春企画展連動展示「フィギュア原型師 岩倉 圭二の仕事展」

会 期：平成 31 年 4 月 20 日(日)～令和元年 7 月 7 日(日) 79 日間(68 開館日)

主 催：北九州市、北九州イノベーションギャラリー

協 力：岩倉 圭二氏

展示会場：多目的スペース 自由観覧

観 覧 料：無料

観覧者数：14,544 名

「すごいぞ！そっくり展」と連動して地元のアニメフィギュア作家の作品を約 300 点展示した。多種多様なキャラクターの製作を手掛け国内外で高い評価を得ているが、いまなお北九州市内で活動を続けている。技を十分により身近に堪能いただけるようケース外にも陳列し好評を得た。躍動感ある動きとアニメの世界感の再現性が非常に高く、幅広い年齢層だけでなく海外からの観覧客も来館された。

■春企画展連動展示「KIGS 倶楽部帆船模型クラブ：セーリングシップ～夢とロマンの帆船模型展」

会 期：令和元年 6 月 16 日(日)～令和元年 7 月 5 日(金) 20 日間(15 開館日)
主 催：北九州市、北九州イノベーションギャラリー
協 力：帆船模型クラブ「セーリングシップ」
展示会場：ラウンジ 自由観覧
観 覧 料：無料
観覧者数：683 名

自主的なものづくり活動に取り組む非営利の同好会の 40 数名の会員が精魂込めて作り上げた作品のうち 27 点を公開した。今回で 3 回目の開催となった。

■夏企画展 「気になるスポーツ道具展～アスリートを支える相棒たち」

会 期：令和元年 7 月 20 日(土)～令和元年 9 月 29 日(日) 72 日間(66 開館日)
主 催：北九州市、北九州イノベーションギャラリー
後 援：北九州市スポーツ協会、北九州市教育委員会、北九州市 PTA 協議会、北九州商工会議所
協 力：日本フェンシング協会、日本クレイ射撃協会、日本猟用資材工業会、
日本障がい者スポーツ協会、日本パラ陸上競技連盟、日本車いすバスケットボール連盟、
九州車いすバスケットボール連盟、福岡県カーリング協会、(株)NTT ドコモ、
(株)クイックレスポンス、Scherma、大日本印刷(株)、(株)ニシ・スポーツ、
パピオアイスアリーナ、北栄電気(株)、(株)ミカサ、美津和タイガー(株)、(株)ライゾマティクス
(順不同)
観 覧 料：大人 500 円、小中学生 250 円、未就学児無料 わらべの日：中学生以下無料
(団体 30 名以上は 2 割引、障害者割引有り) 「夏休みこども文化パスポート」対象事業
観覧者数：8,361 名

多種多様なスポーツの人気を支えるアスリート達の相棒となる道具類やトレーニング機器類を体感や体験を交えながら紹介した。特に、「詳しく知られていない」「知っておきたい」「気になるオリンピック種目と障害者スポーツにスポット」をあて、細かい工夫や改良による進化をアピールした。

■秋企画展 「いろ色ひろがる印刷展 ～伝える・魅せる・感じる～」

会 期：令和元年 10 月 12 日(土)～令和元年 12 月 22 日(日) 72 日間(62 開館日)
主 催：北九州市、北九州イノベーションギャラリー
後 援：北九州市教育委員会、北九州市 PTA 協議会、北九州商工会議所、JR 九州、
西鉄バス北九州(株)
協 力：(有)文林堂、(株)スピナ、(一財)八女伝統工芸館、福岡県田川群赤村、平成筑豊鉄道(株)、
香老舗 松栄堂、神谷 佳男(金沢美術工芸大学)、北九州市立美術館、
北九州市自然史歴史博物館、(株)読売新聞、印刷博物館 (順不同)
制 作：凸版印刷(株)
観 覧 料：大人 300 円、小中学生 100 円、未就学児無料 わらべの日：中学生以下無料
(団体 30 名以上は 2 割引、障害者・年長者等各種割引有り)
観覧者数：3,979 名

現代の印刷技術を中心に、多様な色と紙の組み合わせから生まれる芸術作品としてのポスターや色見本の展示、印刷技術から発展した電子表示類が生活を豊かにし環境問題にも貢献すること等を紹介した。印刷により作られる多様な質感そのものがデザインのひとつとなっており芸術家がこだわった八女和紙についても取り上げた。

印刷の歴史にも触れ、貴重な石板に残された昆虫類の資料であるリトグラフを紹介し、印刷の役割である情報の伝達に加え、過去の PR 資料記録についても考え、次世代へ残したいものを問う機会ともした。

■冬特別展 「令和元年度未来を見つめる高校生の作品展」

会 期：令和 2 年 1 月 19 日～令和 2 年 1 月 26 日 9 日間(8 開館日)

主 催：北九州市、北九州イノベーションギャラリー

主 管：福岡県高等学校工業クラブ連盟、福岡県工業高等学校長会

出展高校：福岡県立戸畑工業高等学校、福岡県立福岡工業高等学校、福岡工業大学附属城東高等学校、福岡県立浮羽工業高等学校、福岡県立八女工業高等学校、福岡県立八幡工業高等学校、福岡県立苅田工業高等学校、福岡県立香椎工業高等学校、真颯館高等学校、福岡第一高等学校、福岡市立博多工業高等学校 (順不同)

観 覧 料：無料

観覧者数：949 名

福岡県内の 11 校の工業系の高校生が年間を通じて取り組んだ作品 40 数点を展示した。エコカーや電子作品、木工の技を見せる作品等、各校の様々なものづくりの成果が並んだ。

■冬企画展 「磨き抜かれた職人の技～第 2 回北九州技の達人展」

会 期：令和 2 年 2 月 8 日～令和 2 年 2 月 27 日 20 日間(17 開館日)

会期は当初 3 月 22 日までのところを 4 月 5 日まで延長した。

2 月 28 日以降は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館となったため展示を中止した。

主 催：北九州市、北九州イノベーションギャラリー

観 覧 料：無料

観覧者数：749 名

平成 28 年度に初めて開催し好評を博した「北九州技の達人展」の続編として、その後に認定された第 9 回、第 10 回の認定者の皆さんを中心に作品展を開催した。作品が無形の技術認定者の皆さんについては、その道具類や実演動画等を紹介した。出展者総数は 11 名であった。

IV.調査研究事業

調査研究事業は、

- ◆当館の設立目的のひとつに産業技術の保存継承と人材育成がある。産業技術を理解するには、現物だけでなく個々の技術に秘められた創意工夫や技術者の思い、社会や文化が技術革新に与えた影響、更には技術革新が社会に与えた影響などを後世に伝える必要がある。
- ◆北九州を中心として技術革新の歴史を調査記録し、公開することで北九州の企業が技術革新に果たし

た役割についてまとめ、理解を深める。

- ◆今進めなければ消滅する可能性のある、すなわち緊急性の高いテーマを優先することを基本方針として調査・研究を行う。

実行にあたっては、

- ①地域の持つ技術力の活用という観点から、企業、大学、地元技術士会などに協力を仰ぐ。
- ②これまでに培われたネットワークを最大限に活用する。

ことを念頭におき、「地元企業への委託研究」、「大学への委託研究」「国立科学博物館との共同研究」を実施した。

1 「北九州における水ビジネスの海外展開の歴史と発展」の調査研究

北九州における上水道の歴史は 100 年以上前に遡る。1889 年に石炭積出港として門司港が特別輸出港に指定され、コレラ流行の対策として 1911 年に近代水道が整備された。1963 年には旧 5 市が合併し北九州市水道局となり、3 度の大渇水を経て水道拡張事業によって、現在では水道事業の広域化を推進している。また、蓄積された水道技術は、国際協力の延長線上にあり「世界に貢献する水道」を掲げ、主にカンボジア、中国、ベトナムで海外水ビジネスとして推進している。中でも「プノンペンの奇跡」と呼ばれるカンボジアでの水道インフラ整備事業は、「北九州方式」と評価される代表的な国際協力事業として記憶されている。

本調査報告では、北九州の上下水道事業の発展の歴史と、蓄積した上下水道技術をもとに展開した海外での水ビジネス、技術支援事業についてまとめている。

調査研究期間：平成 31 年 4 月～令和 2 年 1 月

研究体制：当館調査研究部門の企画、監修のもと、公益財団法人 地球環境戦略研究機関北九州アーバンセンターの赤木純子氏に調査研究を委託
北九州市上下水道局の支援

2 「北九州におけるリサイクル技術の歴史と発展」の調査研究

北九州市には、1901 年に官営八幡製鐵所が銑鋼一貫体制として鉄鋼を生産し、重厚長大産業が集積し「北九州工業地帯」として日本の戦前戦後を牽引してきた。それに相対する形で、公害克服後の循環型社会への脱皮としてリサイクル産業の長い歴史がある。

今回、環境首都を標榜する北九州市の「リサイクル産業と技術」に焦点を当てて調査研究を行った。調査研究実施のために北九州のリサイクル企業を代表する日本磁力選鉱(株)の原田会長に依頼する一方で、(株)アステック入江と関係の深い北九州市立大学の矢野教授の支援等により、北九州市内 6 企業の協力を得ることができた。調査研究内容は循環型社会への意義、北九州の行政サイドの実績、企業 6 社のリサイクル技術の歴史である。

調査研究期間：平成 31 年 4 月～令和 2 年 2 月

研究体制：当館調査研究部門の企画、監修のもと、北九州市立大学の矢野仁史教授、城戸宏史教授と九州産業大学の垣迫裕俊教授および次の 6 企業に調査研究を委託
日本磁力選鉱(株)、(株)アステック入江、光和精鉱(株)、(株)社新菱、吉川工業(株)、日鉄高炉セメント(株)

3 「北九州における近現代建築の地域資源としての見える化」の調査研究

昨年度は、北九州に多数残る近現代建築を旧 5 市の都市づくりと産業発展の視点で地域資源としての意味と価値を探った。今年度は、近現代建築物を未来の都市形成の中で利活用して行くための“見える化”に力点を置いて調査研究の深堀を行った。その一環として北九州市内の史料館等の紹介を加味するとともに、九州工業大学の欧州視察にあわせて海外を取材し、事例の調査を行った。また、昨年度に続いて郷土史家や設計会社へのヒアリングと行政サイドの北九州市景観課、観光課、世界遺産課等へのヒアリングを行い、その内容も盛り込んでいる。

調査研究機関：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

研究体制：当館調査研究部門の企画、監修のもと、九州工業大学の佐久間治教授に調査研究を委託

北九州市の文化財を守る会理事長 前菌廣幸氏に監修を依頼

4 「自動車用ベアリングの技術系統化調査」(国立科学博物館と共同研究)

北九州市を含む北部九州には大手自動車メーカーの工場が集積しており、その年間生産能力(完成車)は約 160 万台にもものぼる。この点に鑑みて、今年度の国立科学博物館との共同研究は自動車に多数使用されている「自動車用ベアリング」とした。産業革命以降、生産機械や移動運搬車に鋼製のベアリングが使用されるようになり、中でも自動車用ベアリングには高信頼性、高耐久性が要求され、日本のベアリングメーカー独自の技術が生きている。

本調査報告では、一般的なベアリングの構造、特長に触れた上で、自動車用のエンジン、車軸、サスペンション、動力伝達系などアプリケーションごとの自動車用ベアリングの技術開発の歴史についてまとめた。また、内燃機関から電動への移行や自動車の利用形態の多様化を支えるベアリングの在り方等の将来展望についてもまとめている。

調査研究期間：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月

研究体制：国立科学博物館との共同研究

V. 図書・映像等の収集、制作、公開事業

当施設の設立目的に沿った図書及び映像の収集に努めた。また、その公開を積極的かつ迅速に実施することにより、来館者に対して量的・質的向上とサービスアップを図った。

1 図書・資料の収集

新規発行の科学・技術読物、企画展及び各種講座やフォーラムに関連する書籍、定期刊行物(新聞・雑誌)などに分類し、多分野に亘って幅広く購入した。また、種類別のコーナーを区分して分かりやすく一般へ公開した。

＜令和元年度購入実績＞ 1,427 冊(書籍 980 冊、雑誌 447 冊)

＜令和元年度寄贈受入実績＞ 165 冊(社内報 45 冊、報告書等 75 冊、一般書等 45 冊)

2 ライブラリーの運営

来館者に対し、公平で良質なライブラリーサービスを提供しながら、利用者の研究や学習の支援に取組んだ。

◆サービス向上に取り組んだ内容

- ホームページに各月の新着本情報を掲載するとともに、メルマガ会員に向けて KIGS Letter を月 1 回程度配信するサービスを引き続き実施し、利用者の興味を引き、利用頻度向上につなげた。
- 昨年度の統計結果をもとに人気本を増やすとともに、子供向け学習書（国語、算数、理科）、保護者向け養育本、一般向け教養書等、利用者毎に新たな人気分野の書籍を多数揃えた。
- 社史より奥の棚は利用者や内容を考慮した配架が十分になされていなかった。そこで、対象や内容を考慮し配架変更し、探しやすくした。

◆利用者の声

- デザイナー、建築家、技術者等から、良い書籍が揃っているとの意見をいただいている。次年度も、その詳細を確認しながら、他の施設では手に入りにくい書籍を揃え、差別化していく。

《ライブラリー利用者数》年間利用者数：6,174 人、月平均：561 人(3 月を除く)

※前年度年間利用者数：8007 人(月平均 667 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	521	635	687	816	1117	555	444	370	350	372	307	—	6,174

《ライブラリー会員数》年間登録者数：236 名 ※前年度 215 名

月	前年繰越	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	退会	合計
人数	1644	16	27	26	35	52	14	14	11	12	17	12	—	0	1,880

《貸出利用回数》年間貸出回数：1,829 回(ライブラリー利用者の約 30%)

※前年度貸出回数：1,487 回(ライブラリー利用者の約 18%)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回数	115	127	175	200	231	187	150	169	154	187	134	—	1,829

《貸出利用冊数》年間貸出冊数：年間 6,331 冊(1 回平均 3.4 冊)

※前年度貸出冊数：年間 4,242 冊(1 回平均 2.9 冊)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
冊数	427	399	565	740	784	667	510	613	544	648	434	—	6,331

3 映像の制作

2 年間にわたって実施した「北九州における近現代建築の地域資源としての意味と価値」及び「北九州における近現代建築の地域資源としての見える化」の調査研究内容をベースに、女優のえもとりえ氏をナビゲーターに起用し、北九州市主要部の産業史と近現代建築を紹介する作品を制作した（日・英・中・韓の 4 カ国語）。

- ・制作作品：「わたしの北九州」～近代産業発祥の地に刻まれた近現代建築を訪ねて～（約 30 分）
- ・作品概要：旧 5 市の中心部と黒崎を加えた 6 地区のそれぞれ異なる産業史の変遷と、そこに建てられた近現代建築物や建築家を女優のえもとりえ氏が紹介する産業物語である。

4 映像の収集・映像の公開

(1)映像の収集

市販品映像(2 作品) DVD

映像タイトル	映像分野	企画会社名	時間(分)	制作年
デザインあ 2	デザイン	NHKエデュケーショナル	111	2019
でんじろう先生のはぴエネ! 第2巻	エネルギー	中京テレビ放送株式会社	38	2018

(2)映像の公開

7月に開催したIGS市民セミナーで「ものづくり北九州の底ぢから」と題して、今年度に制作した「北九州オンリーワン企業物語Ⅱ」を公開した。同時に当館ホームページで全編(31分)と各社単独編を配信(YouTube)している。また、例年通りTEPIA先端技術館に寄贈し、同館のビデオライブラリーに登録されインターネット経由で一般公開した。その他の保有映像は、当館への訪問団体向けに個別に選択して上映を積極的に実施した。